



# HP Z Workstation シリーズ

ユーザー ガイド

## 著作権情報

改訂第 6 版：2010 年 7 月

製品番号：504629-297

## 保証について

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤りや省略、取り付け、性能、本マニュアル使用に関連する偶発的あるいは間接的損害に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書に関して、商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む一切の保証を致しかねます。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard Company 製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。

本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書には、著作権によって保護されている機密情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard の事前の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。

## 商標表示

HP Invent のロゴは米国およびその他の国/地域における Hewlett-Packard Company の商標です。

Vista は、米国およびその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel は、米国およびその他の国/地域における Intel Corporation の商標で、ライセンス契約に従って使用されます。

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

ENERGY STAR は、米国 Environmental Protection Agency の米国における登録商標です。

## このガイドについて

このガイドでは、HP Z Workstation シリーズのセットアップおよびトラブルの解決方法について説明します。このガイドには、以下のトピックが含まれます。

ガイドのトピック
<a href="#">1 ページの「HP リソースの参照場所」</a>
<a href="#">9 ページの「ワークステーション コンポーネント」</a>
<a href="#">21 ページの「ワークステーションのセットアップ」</a>
<a href="#">33 ページの「オペレーティング システムのセットアップ」</a>
<a href="#">39 ページの「オペレーティング システムの復元」</a>
<a href="#">45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」</a>
<a href="#">49 ページの「メモリの取り付け」</a>
<a href="#">55 ページの「PCI/PCIe デバイスの取り付け」</a>
<a href="#">57 ページの「ハードディスク ドライブの取り付け」</a>
<a href="#">63 ページの「オプティカル ディスク ドライブの取り付け」</a>

※ **ヒント：** お使いの HP Z シリーズ ワークステーションについて、このガイドでお探しのものが見つからない場合は、HP の Web サイト [http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp\\_workstation.html](http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html) でワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照するか、<http://h50146.www5.hp.com/products/workstations/> でお使いのワークステーションに関する詳しい情報を参照してください。



# 目次

<b>1 HP リソースの参照場所</b> .....	<b>1</b>
製品情報 .....	2
製品サポート .....	3
製品ドキュメント .....	4
製品の診断 .....	6
製品のアップデート .....	7
<b>2 ワークステーション コンポーネント</b> .....	<b>9</b>
HP Z400 ワークステーションの各部 .....	9
HP Z400 ワークステーションのシャーシの各部 .....	10
HP Z400 ワークステーションのフロント パネルの各部 .....	11
HP Z400 ワークステーションのリア パネルの各部 .....	12
HP Z600 ワークステーションの各部 .....	13
HP Z600 ワークステーションのシャーシの各部 .....	14
HP Z600 ワークステーションのフロント パネルの各部 .....	15
HP Z600 ワークステーションのリア パネルの各部 .....	16
HP Z800 ワークステーションの各部 .....	17
HP Z800 ワークステーションのシャーシの各部 .....	18
HP Z800 ワークステーションのフロント パネルの各部 .....	19
HP Z800 ワークステーションのリア パネルの各部 .....	20
<b>3 ワークステーションのセットアップ</b> .....	<b>21</b>
適切な通風の確保 .....	21
セットアップ手順 .....	22
横置きへの変更 (Z400 のみ) .....	23
モニターの追加 .....	26
追加モニターの計画 .....	26
サポートされているグラフィックス カードの確認 .....	28
モニター コネクタへのグラフィックス カードの適合 .....	28
モニターの接続要件の確認 .....	29
モニターの接続 .....	30
Microsoft オペレーティング システムを使用したモニターの設定 .....	30
他社製のグラフィックス設定ユーティリティの使用 .....	31
モニター表示のカスタマイズ (Microsoft オペレーティング システムのみ) .....	31
ユーザー補助機能 .....	31
セキュリティ .....	31
製品のリサイクル .....	32

<b>4 オペレーティング システムのセットアップ</b> .....	<b>33</b>
Microsoft オペレーティング システムのセットアップ .....	34
デバイス ドライバのインストールまたはアップグレード .....	34
Windows ワークステーションへのファイルと設定の転送 .....	34
Red Hat Enterprise Linux のセットアップ .....	34
HP ドライバ CD を使用したインストール .....	34
Red Hat 対応ワークステーションのインストールとカスタマイズ .....	35
ハードウェアの動作確認 .....	35
Novell SLED のセットアップ .....	35
ワークステーションのアップデート .....	35
初回起動時のワークステーションのアップデート .....	35
BIOS のアップグレード .....	36
現在の BIOS の確認 .....	36
BIOS のアップグレード .....	37
デバイス ドライバのアップグレード .....	37
<b>5 オペレーティング システムの復元</b> .....	<b>39</b>
復元方法 .....	39
バックアップ ソフトウェアの注文 .....	40
Windows 7 または Windows Vista の復元 .....	40
RestorePlus! メディアの注文 .....	40
オペレーティング システムの復元 .....	40
Windows XP Professional の復元 .....	41
RestorePlus! メディアの作成 .....	41
HP Backup and Recovery (HPBR) メディアの作成 .....	42
オペレーティング システムの復元 .....	43
RestorePlus! の使用 .....	43
HPBR の使用 .....	43
復旧パーティションの使用 .....	43
Novell SLED の復元 .....	43
復元メディアの作成 .....	43
<b>6 コンポーネント取り付けの準備</b> .....	<b>45</b>
取り外しおよび取り付けの準備 .....	45
コンポーネント取り付けのためのワークステーションの準備 .....	45
<b>7 メモリの取り付け</b> .....	<b>49</b>
サポートされるメモリ構成 .....	49
DIMM の取り付け .....	50
通気ガイドの取り付け (Z400 のみ) .....	52

<b>8 PCI/PCIe デバイスの取り付け .....</b>	<b>55</b>
拡張カード スロットの識別 .....	55
拡張カードの取り付け .....	55
<b>9 ハードディスク ドライブの取り付け .....</b>	<b>57</b>
HDD 構成 .....	57
ハードディスク ドライブの取り付け .....	58
HP Z400 ワークステーションへの HDD の取り付け .....	59
HP Z600 または Z800 ワークステーションへの HDD の取り付け .....	61
<b>10 オプティカル ディスク ドライブの取り付け .....</b>	<b>63</b>
HP Z400 ワークステーションへの ODD の取り付け .....	63
オプティカル ドライブの取り付け（縦置き） .....	63
オプティカル ドライブの取り付け（横置き） .....	64
HP Z600 または Z800 ワークステーションへの ODD の取り付け .....	65
ブルーレイ オプティカル ドライブに対するご注意 .....	67
ブルーレイ ムービーの再生 .....	67
ブルーレイ ムービー再生の互換性とアップデート .....	67
<b>索引 .....</b>	<b>69</b>



---

# 1 HP リソースの参照場所

ここでは、ワークステーション用の次の HP リソースに関する情報を提供します。

---

## トピック

---

### [2 ページの「製品情報」](#)

- HP Cool Tools
- 規制に関する情報
- アクセサリ
- システム ボード
- シリアル番号ラベルと COA (Certificate of Authenticity) ラベル
- Linux

---

### [3 ページの「製品サポート」](#)

- 追加情報
- テクニカル サポート
- ビジネス サポート センター
- IT リソース センター
- HP サービス センター
- HP ビジネス 及び IT サービス
- 保証に関する情報

---

### [4 ページの「製品ドキュメント」](#)

- ユーザ マニュアル、サードパーティ ドキュメント、およびホワイト ペーパー
- 製品に関する通知
- QuickSpecs
- 顧客アドバイス、Security Bulletin、通知

---

### [6 ページの「製品の診断」](#)

- 診断ツール
- ビープ音と LED エラー コードの意味
- Web ベース サポート ツール

---

### [7 ページの「製品のアップデート」](#)

- ソフトウェア、BIOS、およびドライバのアップデート
  - オペレーティング システムの再インストール
  - オペレーティング システム
-

# 製品情報

表 1-1 製品情報

トピック	場所
HP Cool Tools	<p>ほとんどの HP Microsoft Windows ワークステーションには、追加ソフトウェアがプリロードされています。ただし、これらのソフトウェアは、最初にブートしたときに、自動的にインストールされるわけではありません。また、ワークステーションにプリインストールされているいくつかの有用なツールを使うと、システムのパフォーマンスを向上させることができます。これらのアプリケーションへのアクセスまたは詳細については、次のいずれかのオプションを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• デスクトップの <b>[HP Cool Tools]</b> アイコンをクリックするか、</li><li>• <b>[スタート]</b>→<b>[すべてのプログラム]</b>→<b>[HP Cool Tools]</b>の順に選択して、<b>[HP Cool Tools]</b>フォルダーを開きます</li></ul> <p>アプリケーションの詳細を確認するには、<b>[HP Cool Tools]</b>→<b>[Learn More]</b>（詳細を見る）の順にクリックします。</p> <p>アプリケーションをインストールまたは起動するには、そのアプリケーション アイコンをクリックします。</p>
規制に関する情報	<p>製品のクラスに関する情報については、『規定および安全に関するご注意』を参照してください。また、シャーシに貼付されているラベルにもクラス情報が記載されています。</p>
アクセサリ	<p>サポートされているオプション製品およびコンポーネントの最新情報については、<a href="http://h50146.www5.hp.com/products/workstations/">http://h50146.www5.hp.com/products/workstations/</a>を参照してください。</p>
システム ボード	<p>サイド アクセス パネルの内側にシステム ボードのレイアウト図があります。また、Web の <a href="http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html">http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html</a> にある『メンテナンスおよびサービスガイド』にも追加情報が記載されています。</p>
シリアル番号ラベルと COA (Certificate of Authenticity) ラベル (該当する場合)	<p>シリアル番号ラベルは、上部パネルまたはユニット後部の側面にあります (ワークステーション モデルによって異なります)。COA ラベルは通常、上部パネルかサイド パネルのシリアル番号ラベルの近くにあります。一部のワークステーションでは、このラベルはユニットの底面にあります。</p>
Linux	<p>HP ワークステーションでの Linux の実行について詳しくは、<a href="http://h50146.www5.hp.com/products/workstations/personal_ws/software/linux/">http://h50146.www5.hp.com/products/workstations/personal_ws/software/linux/</a>を参照してください。</p>

# 製品サポート

表 1-2 製品サポート

トピック	場所
追加情報	<p>オンラインのテクニカル サポート情報およびツールにアクセスするには、<a href="http://h20180.www2.hp.com/apps/Nav?h_pagetype=s-001&amp;h_lang=ja&amp;h_cc=jp&amp;h_product=296720&amp;h_client=S-A-R88-1&amp;h_page=hpcom&amp;lang=ja&amp;cc=jp/">http://h20180.www2.hp.com/apps/Nav?h_pagetype=s-001&amp;h_lang=ja&amp;h_cc=jp&amp;h_product=296720&amp;h_client=S-A-R88-1&amp;h_page=hpcom&amp;lang=ja&amp;cc=jp/</a>を参照してください。</p> <p>サポート リソースには、Web ベースのトラブルシューティング ツール、技術情報ベース、ドライバやパッチのダウンロード、オンライン コミュニティ、障害予測通知サービスなどがあります。</p> <p>以下のコミュニケーション ツールと診断ツールも利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Instant Chat</li><li>• Instant Support</li><li>• Diagnose Problem</li></ul> <p>サポートの利用方法について詳しくは、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。</p>
テクニカル サポート	<p>テクニカル サポートにお問い合わせになる前に、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照し、お問い合わせになる前に準備しておく必要のある情報の一覧を確認してください。</p> <p>世界各地のサポート窓口の電話番号を調べるには、<a href="http://www.hp.com/support/">http://www.hp.com/support/</a>にアクセスして国や地域を選択し、<b>【お問い合わせ】</b>をクリックしてください。</p>
ビジネス サポート センター (BSC)	<p>ソフトウェアやドライバーのダウンロード、保証に関する情報、1つのトピックのドキュメント、ユーザー マニュアル、またはサービス マニュアルについて詳しくは、<a href="http://www.hp.com/go/bizsupport/">http://www.hp.com/go/bizsupport/</a>（英語サイト）を参照してください。</p>
IT リソース センター (ITRC)	<p>IT プロフェッショナル向けの検索可能な知識ベースについて詳しくは、<a href="http://www.itrc.hp.com/">http://www.itrc.hp.com/</a>を参照してください。</p>
HP ビジネス 及び IT サービス	<p>ビジネスおよび IT の情報について詳しくは、<a href="http://welcome.hp.com/country/jp/ja/prodserv.html">http://welcome.hp.com/country/jp/ja/prodserv.html</a> を参照してください。</p>

表 1-2 製品サポート (続き)

トピック	場所
HP ハードウェア サポート サービス	ハードウェアのサービス情報については、 <a href="http://h20219.www2.hp.com/services/us/en/always-on/hardware-support-supporting-information.html?jumpid=reg_R1002_USEN/">http://h20219.www2.hp.com/services/us/en/always-on/hardware-support-supporting-information.html?jumpid=reg_R1002_USEN/</a> (英語サイト) を参照してください。
保証に関する情報	基本的な保証に関する情報を確認するには、 <a href="http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/">http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/</a> を参照してください  既存の HP Care Pack を確認するには、 <a href="http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/outline/search.html">http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/outline/search.html</a> を参照してください。  標準の製品保証を延長するには、 <a href="http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/outline/search.html">http://h50146.www5.hp.com/services/ps/carepack/outline/search.html</a> を参照してください。 HP Care Pack サービスは、標準の製品保証を延長および拡張する、アップグレードされたサービス レベルを提供します。

## 製品ドキュメント

表 1-3 製品ドキュメント

トピック	場所
HP のユーザ マニュアル、ホワイト ペーパー、サードパーティのドキュメント	最新のオンラインの説明書については、 <a href="http://h50146.www5.hp.com/doc/catalog/workstation/">http://h50146.www5.hp.com/doc/catalog/workstation/</a> を参照してください。 これらには、このユーザー ガイドと『メンテナンスおよびサービス ガイド』が含まれています。
製品に関する通知	Subscriber's Choice は HP プログラムの 1 つで、ドライバとソフトウェアに関する警告、障害予測通知 (PCN)、HP ニュースレター、顧客アドバイスなどを受けるための登録ができます。 <a href="http://www.hp.com/go/subscriberschoice/">http://www.hp.com/go/subscriberschoice/</a> で登録してください。  顧客アドバイスや製品変更通知も、 <a href="http://www.hp.com/go/bizsupport/">http://www.hp.com/go/bizsupport/</a> で入手できます。

表 1-3 製品ドキュメント (続き)

トピック	場所
ワークステーションの QuickSpecs	<p>HP Product Bulletin の Web サイトには、HP ワークステーションの『QuickSpecs』が掲載されています。『QuickSpecs』には、ご使用の製品全体の仕様の概要が記載されています。オペレーティング システム、電源、メモリ、CPU やその他多くのシステム コンポーネントなどの機能に関する情報が含まれます。『QuickSpecs』にアクセスするには、<a href="http://www.hp.com/go/productbulletin/">http://www.hp.com/go/productbulletin/</a> (英語サイト) を参照してください。</p>
顧客アドバイス、Security Bulletin、および通知	<p>アドバイス、Bulletin、および通知を検索するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="http://www.hp.com/go/workstationsupport/">http://www.hp.com/go/workstationsupport/</a> (英語サイト) を参照します。</li> <li>2. 目的の製品を選択します。</li> <li>3. <b>[Resources]</b> (リソース) セクションの <b>[See more...]</b> (参照情報) を選択します。</li> <li>4. スクロール バーを使用して、<b>[Customer Advisories, Customer Bulletins, or Customer Notices]</b> (顧客アドバイス、Customer Bulletin、または顧客通知) を選択します。</li> </ol>

## 製品の診断

表 1-4 製品の診断

トピック	場所
診断ツール	[HP Vision Field Diagnostics]ユーティリティは、HP の Web サイトからダウンロードできます。このユーティリティを使用するには、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』の該当するセクションを参照してください。
ビープ音と LED エラー コードの意味	ワークステーションに適用されるビープ音およびランプのコードについて詳しくは、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』の該当するセクションを参照してください。

# 製品のアップデート

表 1-5 製品のアップデート

トピック	場所
ソフトウェア、BIOS、およびドライバのアップデート	<p>ワークステーションに最新ドライバーがインストールされていることを確認するには、<a href="http://h20180.www2.hp.com/apps/Nav?h_pagetype=s-001&amp;h_lang=ja&amp;h_cc=jp&amp;h_product=296720&amp;h_client=S-A-R88-1&amp;h_page=hpcom&amp;lang=ja&amp;cc=jp/">http://h20180.www2.hp.com/apps/Nav?h_pagetype=s-001&amp;h_lang=ja&amp;h_cc=jp&amp;h_product=296720&amp;h_client=S-A-R88-1&amp;h_page=hpcom&amp;lang=ja&amp;cc=jp/</a>を参照してください。</p> <p>使用している Microsoft Windows ワークステーションの現在のワークステーション BIOS を調べるには、[スタート] → [ヘルプとサポート] → [作業を選びます] → [ツールを使って...] → [ツール] → [マイ コンピュータの情報] → [コンピュータに関するシステム情報全般...] を選択します。</p>
オペレーティング システム	<p>HP ワークステーションでサポートされるオペレーティングシステムについて詳しくは、<a href="http://www.hp.com/go/wsos/">http://www.hp.com/go/wsos/</a> (英語サイト) を参照してください。</p>



---

## 2 ワークステーション コンポーネント

この章では、ワークステーション コンポーネントについて説明します。トピックは次のとおりです。

---

### トピック

---

[9 ページの「HP Z400 ワークステーションの各部」](#)

---

[13 ページの「HP Z600 ワークステーションの各部」](#)

---

[17 ページの「HP Z800 ワークステーションの各部」](#)

---

### HP Z400 ワークステーションの各部

ここでは、HP Z400 ワークステーションの、フロント パネルやリア パネルのコネクタなどの各部について説明します。

このワークステーションでサポートしているアクセサリとコンポーネントの最新情報については、<http://partsurfer.hp.com> をご覧ください。

## HP Z400 ワークステーションのシャーシの各部

以下の図に、一般的な HP Z400 ワークステーションのシャーシの各部を示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-1 HP Z400 ワークステーションのシャーシの各部

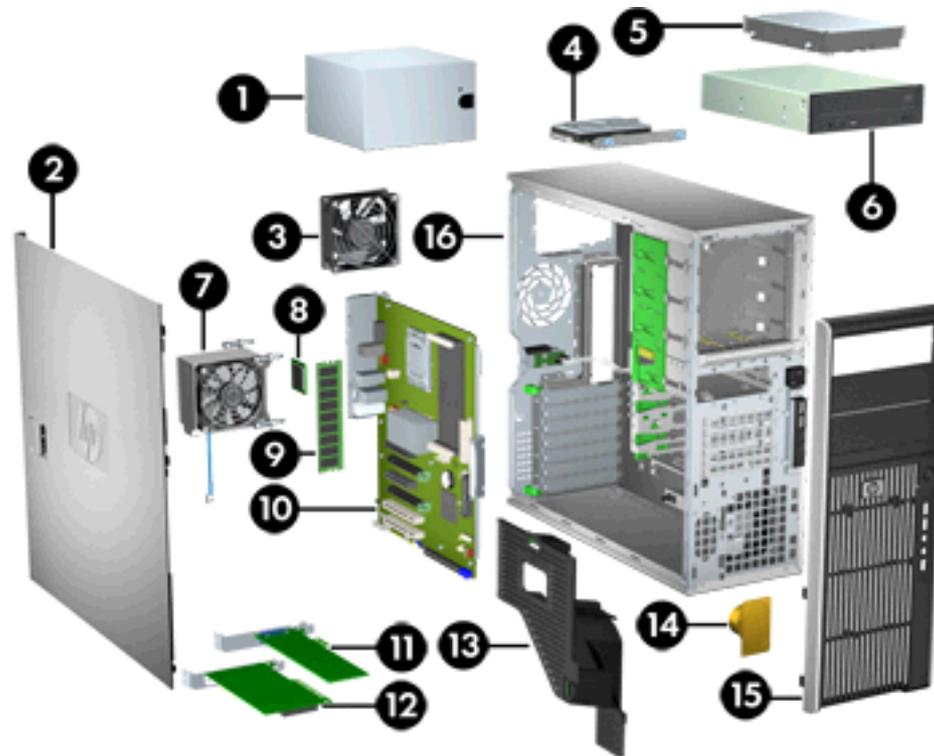


表 2-1 HP Z400 ワークステーションのシャーシの各部の説明

番号	説明	番号	説明
1	電源装置	9	メモリ モジュール (DIMM)
2	サイド アクセス パネル	10	システム ボード
3	背面のシステム ファン	11	PCIe カード
4	SFF ハードディスク ドライブ	12	PCI カード
5	ハードディスク ドライブ	13	通気ガイド (6 DIMM Z400 製品用)
6	オプティカル ドライブ	14	スピーカー
7	プロセッサ (CPU) ヒートシンク	15	フロント パネル
8	プロセッサ (CPU)	16	シャーシ

## HP Z400 ワークステーションのフロント パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z400 ワークステーションのフロント パネルの各部を示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-2 HP Z400 ワークステーションのフロント パネルの各部

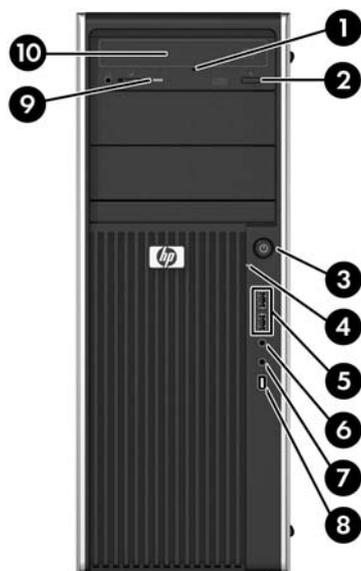


表 2-2 HP Z400 ワークステーションのフロント パネルの各部の説明\*

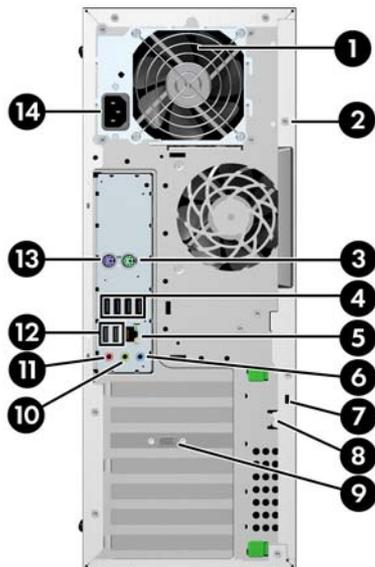
番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		オプティカル ドライブの手動イジェクト	6		ヘッドホン コネクタ
2		オプティカル ドライブのイジェクト ボタン	7		マイク コネクタ
3		電源ボタン	8		1394a コネクタ (構成しない限りオプション製品として取り付け)
4		ハード ディスク ドライブの動作インジケータ	9		オプティカル ドライブの動作インジケータ
5		USB 2.0 ポート (2)	10		オプティカル ドライブ

\* フロント パネルの個々のコンポーネントに関する情報については、ワークステーションの『Maintenance and Service Guide』(メンテナンスおよびサービス ガイド)を参照してください。

## HP Z400 ワークステーションのリア パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z400 ワークステーションのリア パネルの各部を示します。

図 2-3 HP Z400 ワークステーションのリア パネルの各部



**注記：** 周辺機器を接続する際に分かりやすいように、リア パネルの各コネクタは業界標準のアイコンと色で示されています。

表 2-3 HP Z400 ワークステーションのリア パネルの各部の説明

番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		電源装置のビルトイン自己診断テスト (BIST) LED	8		施錠用ループ
2		ユニバーサル シャーシ クランプ開口部	9		グラフィックス カード コネクタ部
3		PS/2 マウス コネクタ (緑色)	10		オーディオ ラインアウト コネクタ (緑色)
4		USB 2.0 ポート (4)	11		マイク コネクタ (桃色)
5		RJ-45 ネットワーク コネクタ	12		USB 2.0 ポート (2)
6		オーディオ ラインイン コネクタ (淡青色)	13		PS/2 キーボード コネクタ (紫色)
7		ケーブル ロック用スロット	14		電源コード コネクタ

## HP Z600 ワークステーションの各部

ここでは、HP Z600 ワークステーションの、フロント パネルやリア パネルのコネクタなどの各部について説明します。

このワークステーションでサポートしているアクセサリとコンポーネントの最新情報については、<http://partsurfer.hp.com> をご覧ください。

## HP Z600 ワークステーションのシャーシの各部

以下の図に、一般的な HP Z600 ワークステーションを示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-4 HP Z600 ワークステーションの各部

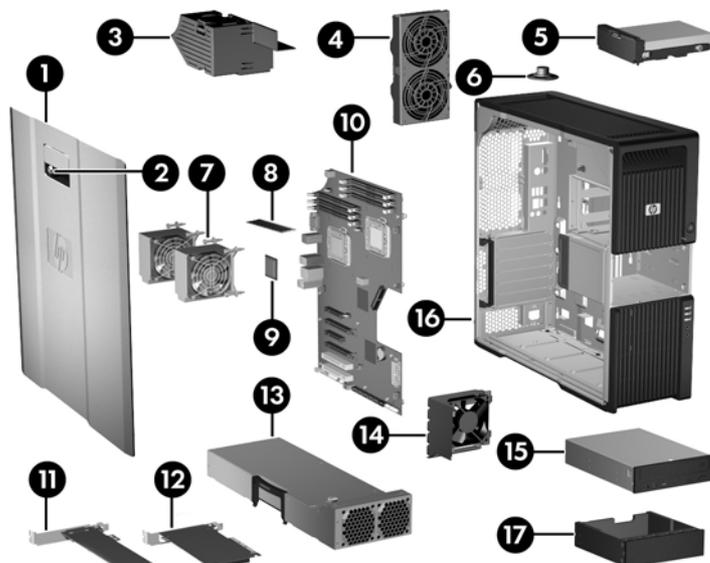


表 2-4 HP Z600 ワークステーションの各部の説明

番号	説明	番号	説明
1	サイド アクセス パネル	10	システム ボード
2	サイド アクセス パネル キーロック	11	PCIe カード
3	メモリ ダクト/ファン ハウ ジング	12	PCI カード
4	リア システム ファン	13	電源装置
5	ハード ディスク ドライブ	14	カード ガイドとフロント ファ ン
6	スピーカー	15	オプティカル ドライブ
7	プロセッサ (CPU) ヒート シンク	16	シャーシ
8	メモリ モジュール (DIMM)	17	オプティカル ベイ フィラー (オプションまたは他のデバイス)
9	プロセッサ (CPU)		

## HP Z600 ワークステーションのフロント パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z600 ワークステーションのフロント パネルの各部を示します。

図 2-5 HP Z600 ワークステーションのフロント パネル

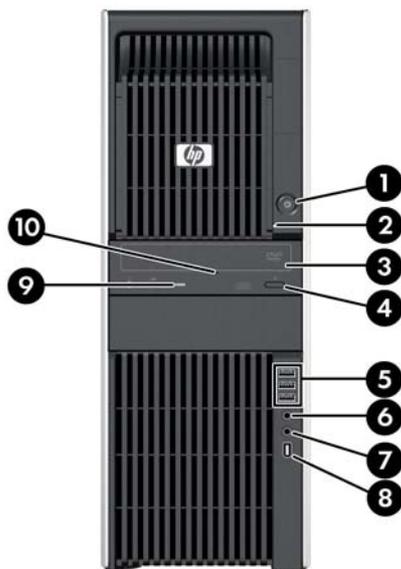


表 2-5 HP Z600 ワークステーションのフロント パネル コネクタ\*

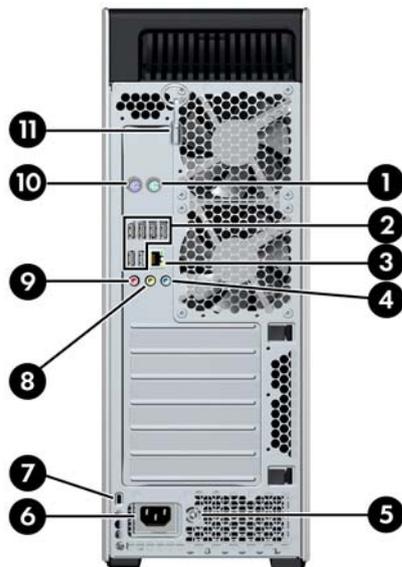
番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		電源ボタン	6		ヘッドホン コネクタ
2		ハード ディスク ドライブの動作インジケータ	7		マイク コネクタ
3		オプティカル ドライブ	8		IEEE-1394a コネクタ (RDIMM システム ボードに標準で付属)
4		オプティカル ドライブのイジェクト ボタン	9		オプティカル ドライブの動作インジケータ
5		USB 2.0 ポート (3)	10		オプティカル ドライブの手動イジェクト

\* フロント パネルの個々のコネクタに関する情報については、ワークステーションの『Maintenance and Service Guide』(メンテナンスおよびサービス ガイド) を参照してください。

## HP Z600 ワークステーションのリア パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z600 ワークステーションのリア パネルの各部を示します。

図 2-6 HP Z600 ワークステーションのリア パネル



**注記：** 周辺機器を接続する際に分かりやすいように、リア パネルの各コネクタは業界標準のアイコンと色で示されています。

表 2-6 HP Z600 ワークステーションのリア パネル コネクタ

番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		PS/2 マウス コネクタ (緑色)	7		ケーブル ロック用スロット
2		USB 2.0 ポート (6)	8		オーディオ ラインアウト コネクタ (緑色)
3		RJ-45 ネットワーク コネクタ	9		マイク コネクタ (桃色)
4		オーディオ ラインイン コネクタ (淡青色)	10		PS/2 キーボード コネクタ (紫色)
5		電源装置のビルトイン自己診断テスト (BIST) LED	11		サイド アクセス パネル キー
6		電源コード コネクタ			

## HP Z800 ワークステーションの各部

ここでは、HP Z800 ワークステーションの、フロント パネルやリア パネルのコネクタなどの各部について説明します。

サポートしているアクセサリとコンポーネントの最新情報については、<http://partsurfer.hp.com> をご覧ください。

## HP Z800 ワークステーションのシャーシの各部

以下の図に、一般的な HP Z800 ワークステーションを示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-7 HP Z800 ワークステーションの各部



表 2-7 HP Z800 ワークステーションの各部の説明

番号	説明	番号	説明
1	エアフロー ガイド	11	メモリ モジュール (DIMM)
2	サイド アクセス パネル	12	プロセッサ (CPU)
3	サイド アクセス パネル キーロック	13	システム ボード
4	メモリ ファン	14	拡張カード サポート
5	リア システム ファン	15	PCIe カード
6	電源装置	16	PCI カード
7	スピーカー	17	ハード ディスク ドライブ
8	オプティカル ドライブ	18	システム ボード リテーナ/ フロント ファン ホルダ
9	オプティカル ベイ フィ ラー (オプションまたは他 のデバイス)	19	フロント システム ファン*
10	プロセッサ (CPU) ヒート シンク	20	シャーシ

\* \*1110W 電源装置の場合の取り付けファンは 2 つ。

## HP Z800 ワークステーションのフロント パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z800 ワークステーションのフロント パネルの各部を示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-8 HP Z800 ワークステーションのフロント パネル

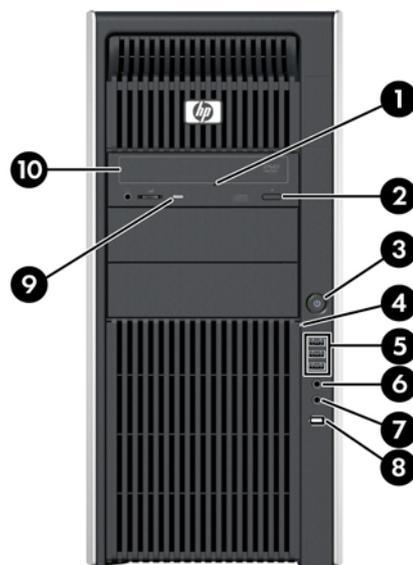


表 2-8 HP Z800 ワークステーションのフロント パネル コネクタ\*

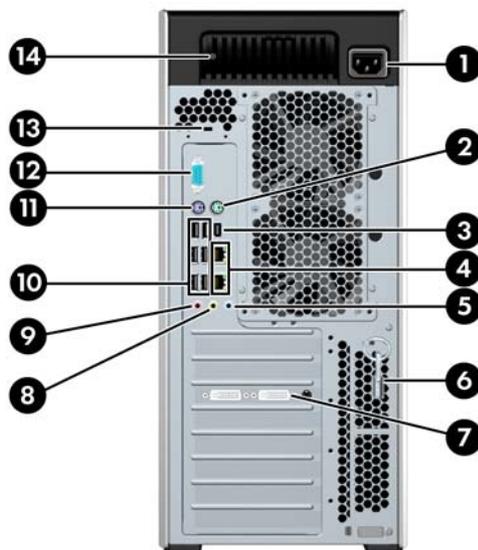
番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		オプティカル ドライブの手動イジェクト	6		ヘッドホン コネクタ
2		オプティカル ドライブのイジェクト ボタン	7		マイク コネクタ
3		電源ボタン	8		IEEE-1394a コネクタ
4		ハード ディスク ドライブの動作インジケータ	9		オプティカル ドライブの動作インジケータ
5		USB 2.0 ポート (3)	10		オプティカル ドライブ

\* フロント パネルの個々のコネクタに関する情報については、ワークステーションの『Maintenance and Service Guide』(メンテナンスおよびサービス ガイド) を参照してください。

## HP Z800 ワークステーションのリア パネルの各部

以下の図に、一般的な HP Z800 ワークステーションのリア パネルを示します。ドライブの構成は、モデルによって異なる場合があります。

図 2-9 HP Z800 ワークステーションのリア パネル



**注記：** 周辺機器を接続する際に分かりやすいように、リア パネルの各コネクタは業界標準のアイコンと色で示されています。

表 2-9 HP Z800 ワークステーションのリア パネル コネクタ

番号	記号	説明	番号	記号	説明
1		電源コード コネクタ	8		オーディオ ラインアウト コネクタ (緑色)
2		PS/2 マウス コネクタ (緑色)	9		マイク コネクタ (桃色)
3		IEEE-1394 コネクタ	10		USB 2.0 ポート (6)
4		RJ-45 ネットワーク コネクタ (2)	11		PS/2 キーボード コネクタ (紫色)
5		オーディオ ラインイン コネクタ (淡青色)	12		シリアル コネクタ
6		サイド アクセス パネル キー	13		ケーブル ロック用スロット
7		グラフィック コネクタ	14		電源装置のビルトイン自己診断テスト (BIST) LED

## 3 ワークステーションのセットアップ

この章では、以下のトピックでワークステーションのセットアップ方法について説明します。

トピック
<a href="#">21 ページの「適切な通風の確保」</a>
<a href="#">22 ページの「セットアップ手順」</a>
<a href="#">23 ページの「横置きへの変更 (Z400 のみ)」</a>
<a href="#">26 ページの「モニターの追加」</a>
<a href="#">31 ページの「ユーザー補助機能」</a>
<a href="#">31 ページの「セキュリティ」</a>
<a href="#">32 ページの「製品のリサイクル」</a>

### 適切な通風の確保

システムに対する適切な通風は、ワークステーションの運用にとって重要です。適切な通風を確保するため、以下のガイドラインに従ってください。

- ワークステーションは、丈夫で水平な場所で操作します。
- 適度な通気性がある場所にワークステーションを設置してください。以下の図に示すように、ワークステーションの前後に 15 cm 以上の空間を確保してください。

お使いのワークステーションは、この図とは異なる場合があります。

図 3-1 適切なワークステーションの通風

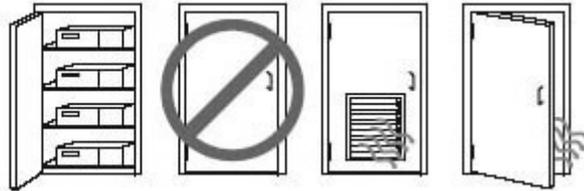


- ワークステーションの周囲温度が記載された制限内であることを確認します。

 **注記：** 35°C という周囲温度の上限は、高度 1524 m まででのみ適しています。1524 m を超えると、304.8 m ごとに 1.0°C 下がります。そのため、3048 m での周囲温度の上限は 30°C です。

- キャビネットに入れる場合は、キャビネットの通気をよくして、中の温度が記載された制限を超えないようにします。
- 次の図のように、通気口や吸気口をふさいでワークステーション周辺の通風を遮らないようにしてください。

図 3-2 適切なワークステーションの配置



## セットアップ手順

△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

-必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

-電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

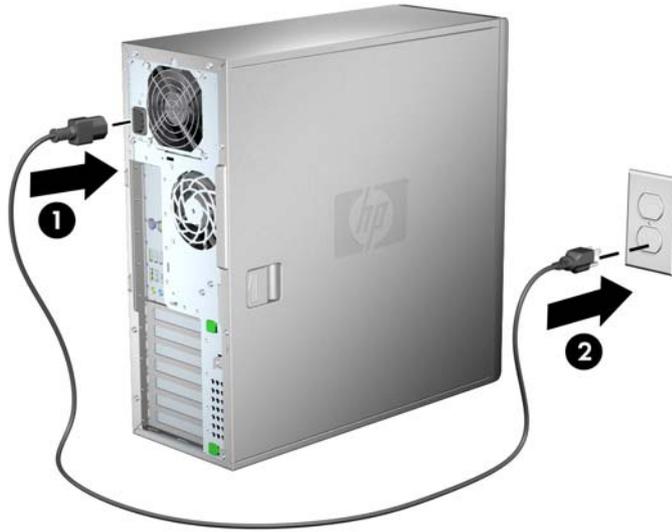
ワークステーションをセットアップするには、以下の操作を行います。

1. HP ワークステーションの梱包を解いた後、システムをセットアップするために適切な通気のある場所を探します。
2. マウスとキーボードをワークステーションに接続します。

コネクタの位置情報については、このマニュアルのリア パネル コネクタの項目を参照してください。

3. 電源コードを接続します。

図 3-3 電源コードの接続



△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。
- ・電源コンセントから電源コードを抜いて（電源コードをコンピューターから抜かないようにします）、コンピューターの電源を切断してください。
- ・電源コードに3ピンのアタッチメント プラグがある場合は、コードを3ピンのアースされた電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用して接地し、2ピンのアダプターなどには接続しないでください。アース用ピンは、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

📖 **注記：** ワークステーションのハードウェアをセットアップしたら、デバイスに付属の説明書に沿って、他の周辺のコンポーネント（プリンターなど）を接続します。

## 横置きへの変更（Z400のみ）

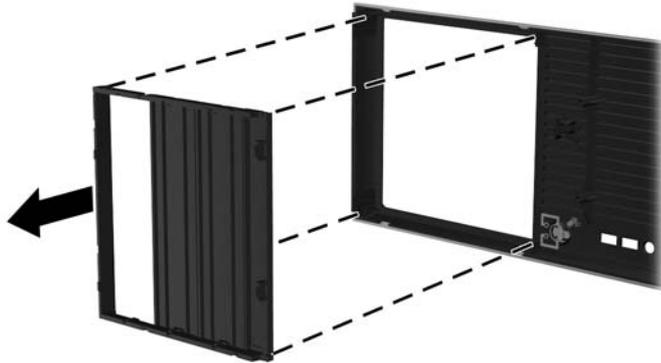
このワークステーションは、縦置きまたは横置きで使用できます。横置きに変更するには、以下の操作を行います。

📖 **注記：** 以下の手順での設置について詳しくは、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

1. コンポーネントを取り付けるために、ワークステーションを準備します（[45 ページの「コンポーネント取り付けのためのワークステーションの準備」](#)を参照してください）。
2. ワークステーションからフロント パネルを取り外します。

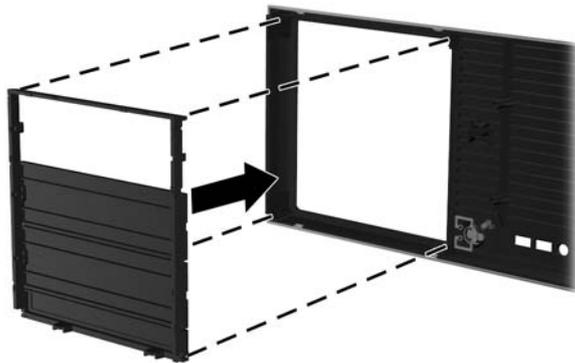
3. オプティカルドライブベイのフィラーパネルを軽く押し、以下の図のようにフロントパネルから取り外します。

図 3-4 ODD ベイ フィラーパネルの取り外し



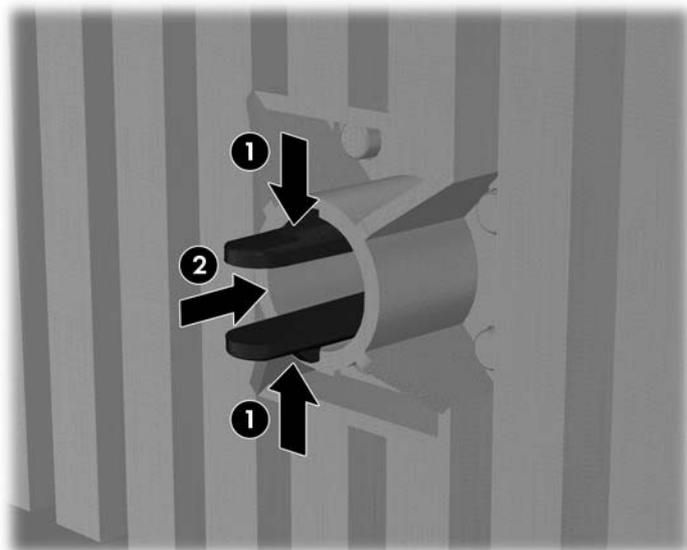
4. 水平の位置まで 90 度回転します。
5. フロントパネルのタブにフィラーパネルのフレームにあるスロットを合わせます。以下の図に示すように、オプティカルドライブのフィラーパネルが正しい位置に固定されるまで、フィラーパネルをフロントパネルに押し付けて取り付けなおします。

図 3-5 ODD ベイ フィラーパネルの取り付け



- 以下の図に示すように、フロント パネルの背面にある HP ロゴ取り付けタブをつまみ (1)、ロゴを外側に押し出す (2)。

図 3-6 HP ロゴの回転



HP ロゴを反時計回りに 90°回転させてからロゴを取り外し、フロント パネル内の元の位置に押し込みます。

- EMI フィラー パネルを取り外し、オプティカル ディスク ドライブをシャーシから取り外します。
- 以下の図に示すように EMI フィラー パネルとオプティカル ドライブを 90°回転させ、取り付けなおします ([64 ページの「オプティカル ドライブの取り付け \(横置き\)」](#)を参照してください)。

図 3-7 オプティカル ドライブの再取り付け



- 最後にフロント パネルおよび側面のアクセス パネルを取り付けなおします。

## モニターの追加

ここでは、ワークステーションにモニターを接続する方法を説明します。

### 追加モニターの計画

HP Zシリーズのコンピューターに付属しているすべてのグラフィックス カードでは、2 台のディスプレイの同時モニターがサポートされています（[30 ページの「モニターの接続」](#)を参照してください）。2 台を超えるモニターがサポートされている他のカードを利用することもできます。モニターを追加するための手順は、お使いのグラフィックス カードおよび追加するモニターの種類や数によって異なります。

モニターを追加するための計画は、以下の手順に沿って行います。

#### 1. モニターの要件を評価します。

- 必要なモニターの数を決定します。
- 必要になるグラフィックス パフォーマンスの種類を決定します。
- 各モニターに使用するグラフィックス コネクタの種類を記録します。HP は DisplayPort (DP) および DVI インターフェイスを備えたグラフィックス カードを提供していますが、アダプターや他社製のカードを使用して DVI-I、HDMI、VGA などの他のグラフィックス形式に接続することもできます。

☞ **ヒント：** 古い一部のレガシー ハードウェア用のアダプターには、他の製品よりコストが高いものがあります。アダプターを入手する場合のコストと、アダプターが不要な新しいモニターを入手する場合のコストを比較することをおすすめします。

#### 2. 追加のグラフィックス カードが必要かどうかを判断します。

- グラフィックス カードの説明書を参照し、カードに接続できるモニターの数を確認します。
  - カードの出力をモニター コネクタに適合させるため、アダプターを入手する必要があることがあります（[28 ページの「モニター コネクタへのグラフィックス カードの適合」](#)を参照してください）。

📖 **注記：** 60 Hz で 1920×1200 ピクセルよりも高解像度のモニターでは、デュアルリンク DVI または DisplayPort 出力を備えたグラフィックス カードが必要です。DVI でネイティブ解像度を得るには、標準の DVI-I または DVI-D ケーブルではなく、DL-DVI ケーブルを使用する必要があります。

- 必要に応じて、追加のモニターを動作させるための新しいグラフィックス カードを入手します。

 **注記：** HP コンピューターは、すべてのグラフィックス カードをサポートしているわけではありません。新しいグラフィックス カードを購入する前に、そのカードがサポートされていることを確認してください。サポートされているグラフィックス カードの一覧を表示する方法およびその他の情報については、[28 ページの「サポートされているグラフィックス カードの確認」](#)を参照してください。

- グラフィックス カードによってサポートされるモニターの最大数は、そのカードによって異なります。ほとんどのカードには、2 台のモニター用の出力があります。4 つの出力を備えているものもあります。

 **注記：** 多くのグラフィックス カードは 2 つよりも多いモニター出力を備えていますが、1 度に 2 つしか使用できないという制限があります。グラフィックス カードの説明書を参照するか、または[28 ページの「サポートされているグラフィックス カードの確認」](#)の手順に沿ってカードに関する情報を調べてください。

 **注記：** 一部のグラフィックス カードでは、モニター信号を複数の出力で多重化することによって、複数のモニターがサポートされます。この場合、グラフィックスのパフォーマンスが低下するおそれがあります。グラフィックス カードの説明書を参照するか、または[28 ページの「サポートされているグラフィックス カードの確認」](#)の手順に沿ってカードに関する情報を調べてください。

- カードの出力と、モニターに必要な入力が適合するかどうかを確認します ([29 ページの「モニターの接続要件の確認」](#)を参照してください)。
- 追加のグラフィックス カードに利用できる機械的なサイズ、データ速度、および電力に関する制限は、Z シリーズ コンピューターのモデルごとに異なります。また、グラフィックス カードの実用上、通常の制限はコンピューターあたり 2 つです。お使いのコンピューターで新しいグラフィックス カードが動作することを確認するには、[55 ページの「拡張カード スロットの識別」](#)を参照してください。

3. 新しいグラフィックス カードを追加する必要があると判明した場合は、以下の操作を行います。

- a. モニター数、使用予定のモニターとの互換性、およびパフォーマンスの観点から、HP によってサポートされているどのグラフィックス カードが最適かを判断します。サポートされているグラフィックス カードを確認するには、[28 ページの「サポートされているグラフィックス カードの確認」](#)を参照してください。
- b. そのグラフィックス カード用の適切なドライバーがインストールされていることを確認します。
- c. このマニュアルの指示に沿って、最初のグラフィックス カードを取り付けます ([55 ページの「PCI/PCIe デバイスの取り付け」](#)を参照してください)。
- d. Windows ([30 ページの「Microsoft オペレーティング システムを使用したモニターの設定」](#)を参照)、または他社製の設定ツール ([31 ページの「他社製のグラフィックス設定ユーティリティの使用」](#)を参照) を使用してモニターを設定します。

 **ヒント：** 潜在的な問題のトラブルシューティングを簡単にするため、1 度に 1 つのモニターを有効にします。つまり、最初のモニターを有効にし、カード、接続、およびモニターが適切に機能することを確認してから、次のモニターを有効にします。

## サポートされているグラフィックス カードの確認

お使いのコンピューターでサポートされているグラフィックス カードについて詳しい情報を確認するには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hp.com/go/workstationsupport/>（英語サイト）を表示します。
2. [Personal Workstations]の一覧でお使いのコンピューターのリンクをクリックします（[HP Z400 Workstation]など）。お使いのコンピューターの情報に掲載したページが開きます。
3. [Hot topics for this product]（この製品の最新トピック）という見出しの下の[Product Overview]（製品の概要）をクリックします。お使いのコンピューターの概要に掲載したページが表示されます。
4. [Graphics]（グラフィックス）のセクションまで下方向にスクロールすると、お使いのコンピューターでサポートされているグラフィックス カードの一覧が表示されます。
5. （任意）サポートされているグラフィックス カードに関する詳しい情報を表示するには、以下の操作を行います。
  - a. [Links to Product Quickspecs]（製品の『QuickSpecs』へのリンク）のリンクをクリックするか、[Links to Product Quickspecs]という見出しまで下方向にスクロールします。
  - b. お住まいの地域、および情報を PDF ファイルと HTML 形式のどちらで表示したいかに応じてリンクをクリックし、『QuickSpecs』を表示します。たとえば、北米で Z400 を所有し、PDF でファイルを表示したい場合は、[Click here to access the HP Z400 Workstation North America Quickspecs in pdf format]（HP Z400 ワークステーション北米の『QuickSpecs』を PDF 形式で表示する場合はここをクリック）をクリックします。お使いのコンピューターの『QuickSpecs』の情報が表示されます。
  - c. [Technical Specifications-Graphics]（技術仕様-グラフィックス）リンクをクリックします。お使いのコンピューターでサポートされているグラフィックス カードの幅広い技術情報が表示されます。この情報には、カードでサポートされているモニターの数、コネクタ、電力消費、ドライバー、およびその他の詳しい情報が含まれます。

## モニター コネクタへのグラフィックス カードの適合

以下の表で、モニター構成シナリオを説明します。

グラフィックス カード インターフェイス コネクタ	モニター コネクタ		
	VGA	DVI	DISPLAYPORT (DP)
DISPLAYPORT 	DisplayPort - VGA アダプター (別売)	DP - DVI アダプター	アダプターは不要
DVI 	DVI - VGA アダプター	アダプターは不要	なし
VGA (左側) /DVI 	アダプターは不要	アダプターは不要	なし

DMS-59*	DMS-59 - VGA (別売)	DMS-59 - DVI	なし
---------	----------------------	--------------	----

\* このインターフェイスは、2台のVGAまたは2台のDVIモニターをサポートするデュアル モニター用グラフィックス インターフェイス カードです。

☞ **注記：** HP のグラフィックス カードには、特に記載がない限り、モニター ケーブル アダプターが含まれています。

☞ **注記：** パフォーマンスが最も低いのはVGAグラフィックスカードで、最も高いのはDisplayPortカードです。

## モニターの接続要件の確認

モニターの接続には、以下のさまざまなシナリオがあります（各グラフィックスカードについて詳しくは、[28 ページの「モニター コネクタへのグラフィックス カードの適合」](#)を参照してください）。

- **DisplayPort 出力のグラフィックス カード：**ワークステーションにディスプレイ ポート出力レセプタクルの付属したグラフィックス カードがある場合は、各レセプタクルにモニターを接続できます。必要に応じて、適切なアダプターを使用します。

- **DVI 出力のグラフィックス カード：**ワークステーションに DVI 出力レセプタクルの付属した PCIe グラフィックス カードがある場合は、各 DVI レセプタクルにモニターを接続できます。必要に応じて、適切なアダプターを使用します。

☞ **注記：** 一部の HP コンピューターには、DVI ポートが1つしかありません。ただし、このようなコンピューターには必ず2つ目のグラフィックス出力オプション（DisplayPort または VGA）があります。多くのグラフィックス カードは2つよりも多いモニター出力を備えていますが、1度に2つしか使用できないという制限があることにも注意してください。グラフィックス カードの説明書を参照するか、または[28 ページの「サポートされているグラフィックス カードの確認」](#)の手順に沿ってカードに関する情報を調べてください。

☞ **注記：** 2つの DVI 接続を備えたシステムでポート番号 1 を識別する必要がある場合、ポート番号 1 は、システム起動後に BIOS POST スクリーンが表示される、プライマリ ディスプレイに使用されるポートです（通常、これは2つの出力のうち、下側の出力です。BIOS POST の実行中は1つのカードのみが使用されます。ただし、この設定は BIOS 設定で変更できます）。

- **SVGA および DVI-D 出力のグラフィックス カード：**ワークステーションに PCIe グラフィックス カードがなく、SVGA か DVI-D 出力レセプタクル、またはその両方がワークステーションシャーシのリア パネルにある場合は、各出力にモニターを接続できます。

- **DMS-59 出力のグラフィックス カード：**ワークステーションに DMS-59 出力レセプタクルの付属した PCIe グラフィックス カードがある場合は、適切なアダプターを使用してモニターに接続します。

アダプターは、DMS-59 出力を2つの DVI モニターまたは2つの VGA モニターに接続するために使用できます。

## モニターへの接続

**注記：** このセクションで示すように、HP によってサポートされているグラフィックス カードでは通常、少なくとも 2 つのモニターがサポートされています。一部のカードでは、より多くのモニターがサポートされます。詳しくは、グラフィックス カードの説明書を参照してください。

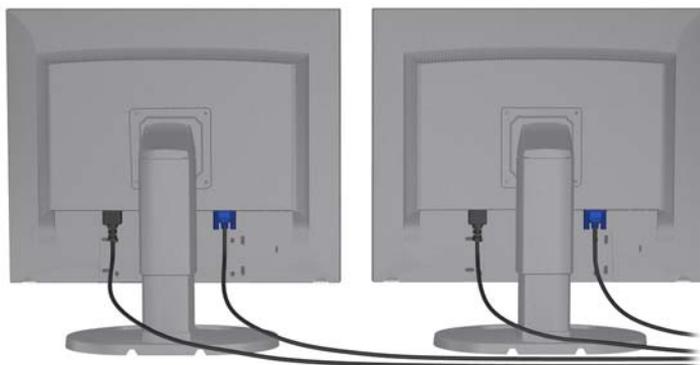
1. 以下の図のように、モニター ケーブル アダプターをワークステーションに接続し (1) (必要な場合)、適切なモニター ケーブルをアダプターに接続するか (2)、グラフィックス カードに直接接続します。

図 3-8 ケーブルのワークステーションへの接続



2. 以下の図に示すように、グラフィックス ケーブルのもう一方の端子をモニターに接続します。

図 3-9 ケーブルのモニターへの接続



3. モニター コードの一方の端をモニターに接続し、もう一方の端をアースされた電源コンセントに差し込みます。

## Microsoft オペレーティング システムを使用したモニターの設定

モニターの設定手順について詳しくは、Microsoft 社のヘルプ情報または Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

## 他社製のグラフィックス設定ユーティリティの使用

他社製のグラフィックス カードにモニター設定ユーティリティが含まれている場合があります。インストール時にこのユーティリティは Windows に統合されます。このユーティリティを選択して使用することで、ワークステーションで複数のモニターを設定できます。

モニター設定ユーティリティの使用手順については、お使いのグラフィックス カードの説明書を参照してください。

 **注記：** 一部の他社製の設定ユーティリティでは、その設定ツールを使用する前に Windows でモニターを有効にする必要があります。詳しくは、グラフィックス カードの説明書を参照してください。

 **注記：** モニター設定ユーティリティは、HP のサポート Web サイトで入手できる場合もあります。

お使いのワークステーションでモニターを設定するために Linux を使用する場合、手順について詳しくは、『Linux User Guide』（Linux ユーザー ガイド）を参照してください。

## モニター表示のカスタマイズ（Microsoft オペレーティング システムのみ）

モニターのモデル、リフレッシュ レート、画面解像度、色設定、フォント サイズ、電力管理設定などは、手動で選択または変更できます。

ディスプレイ設定を変更するには、Windows デスクトップを右クリックし、[プロパティ]（Microsoft Windows XP Professional の場合）または[個人設定]（Microsoft Windows Vista® Business の場合）をクリックします。

モニター表示のカスタマイズについて詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- グラフィックス コントローラー ユーティリティによって提供されるヘルプ
- モニターに付属の説明書

## ユーザー補助機能

HP では、障害のある方や年齢に関連した制限のあるお客様など、すべてのお客様にとって、よりアクセスしやすい製品、サービス、および情報の開発に取り組んでいます。Microsoft Windows Vista Business および Microsoft Windows XP Professional がプリインストールされている HP 製品は、ユーザー補助機能を考慮に入れて設計されていて、これらの製品は業界をリードする Assistive Technology（支援技術）製品を使用してテストされています。詳しくは、<http://www.hp.com/accessibility/>（英語サイト）を参照してください。

## セキュリティ

一部の HP ワークステーションには側面のアクセス パネルにロックがあります。このロックの鍵は、ワークステーションのシャーシの背面パネルに取り付けられて出荷されます。

ワークステーションには複数のセキュリティ機能があり、盗難のリスクを軽減したり、シャーシへの侵入を警告したりできます。お使いのシステムで利用可能な追加のハードウェアおよびソフトウェアのセキュリティ機能について詳しくは、『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

## 製品のリサイクル

HP では、使用済みの電子機器、HP 製インク カートリッジ、および充電式バッテリーのリサイクルを推奨しています。

HP コンポーネントや製品のリサイクルについては、<http://www.hp.com/go/recycle> を参照してください。

---

## 4 オペレーティング システムのセットアップ

この章では、ワークステーションのオペレーティング システムのセットアップとアップデートについて説明します。次の項目があります。

---

### トピック

---

[34 ページの「Microsoft オペレーティング システムのセットアップ」](#)

---

[34 ページの「Red Hat Enterprise Linux のセットアップ」](#)

---

[35 ページの「Novell SLED のセットアップ」](#)

---

[35 ページの「ワークステーションのアップデート」](#)

---

また、この章には、ワークステーションにインストールされている BIOS、ドライバ、ソフトウェアアップデートが最新のものかどうかを確認する方法も記載されています。

- △ **注意：** オペレーティング システムが正しくインストールされるまでは、HP ワークステーションにオプションのハードウェアを追加しないでください。途中でハードウェアを追加すると、エラーが発生して、オペレーティング システムが正しくインストールされない可能性があります。
-

## Microsoft オペレーティング システムのセットアップ

☞ **注記:** Windows 7 または Windows Vista から Windows XP Professional オペレーティング システムへのダウングレードを購入した場合、Windows XP Professional オペレーティング システムがプリインストールされています。この構成では、Windows 7 または Windows Vista オペレーティング システムのリカバリ メディアしか提供されません。Windows XP Professional オペレーティング システムを復元またはリカバリするには、初回ブートの後、Windows XP Professional オペレーティング システム用のリカバリ メディアを作成する必要があります。

ワークステーションの電源を初めて入れると、オペレーティング システムがインストールされます。このプロセスには、約 5 分から 10 分かかります。画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

△ **注意:** インストールが始まったら、そのプロセスが完了するまでワークステーションの電源を切らないでください。インストール中にワークステーションの電源をオフにすると、ソフトウェアのインストールや動作に悪影響が及ぶ可能性があります。

オペレーティング システムの詳細なインストール手順と構成手順は、ワークステーションに付属するオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。追加情報は、オペレーティング システムのインストール後、オンライン ヘルプ ツールで表示できます。

## デバイス ドライバのインストールまたはアップグレード

オペレーティング システムのインストール後にハードウェア デバイスを取り付ける場合は、デバイスを取り付ける前に適切なデバイス ドライバをインストールしておく必要があります。デバイスに付属するインストール手順を実行してください。また、最適なパフォーマンスを維持するには、オペレーティング システムのアップデート、パッチ、ソフトウェア フィックスを最新の状態にしておく必要があります。ドライバとソフトウェアのアップデートの詳細については、[37 ページの「デバイス ドライバのアップグレード」](#)を参照してください。

## Windows ワークステーションへのファイルと設定の転送

Microsoft Windows オペレーティング システムのデータ移行ツールを使用すると、容易にファイルとデータを選択して、Windows コンピュータから Windows 7、Windows Vista、または Windows XP Professional オペレーティング システムがインストールされているワークステーションに転送できます。

このツールの使用手順については、<http://www.microsoft.com> のドキュメントを参照してください。

## Red Hat Enterprise Linux のセットアップ

HP では、Red Hat ボックスセットの機能を補い、HP Linux ユーザがシステム イメージをカスタマイズするための Linux 用 HP インストーラ キット (HPIKL) を提供しています。HPIKL には、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) オペレーティング システムを正しくセットアップするための HP ドライバ CD およびデバイス ドライバが含まれています。Linux 用 HP インストーラ キット CD は、現在 [http://www.hp.com/support/workstation\\_swdrivers](http://www.hp.com/support/workstation_swdrivers) からダウンロードできます。

## HP ドライバ CD を使用したインストール

HP ドライバ CD をインストールするには、[http://www.hp.com/support/workstation\\_manuals](http://www.hp.com/support/workstation_manuals) にある『HP Workstations for Linux』(Linux 用 HP Workstation) マニュアルの「Installing with the HP Installer Kit for Linux」(Linux 用 HP インストーラ キットによるインストール) を参照してください。

## Red Hat 対応ワークステーションのインストールとカスタマイズ

Linux 対応のワークステーションでは、HP インストーラ キットと Red Hat Enterprise Linux ボックス セットの購入が必要です。このインストーラ キットには、HP ワークステーションでの動作が確認済みの、全バージョンの Red Hat Enterprise Linux ボックス セットをインストールするのに必要な HP CD が含まれています。

HP インストーラ キットに含まれるドライバを RHEL 以外の Linux ディストリビューションで使いたい場合は、HP Driver CD から手動でドライバを抽出し、インストールする必要があります。HP では、他の Linux ディストリビューションに対してこれらのドライバのインストール テストを行っていません。また、そのような操作は HP のサポートの対象外となります。

### ハードウェアの動作確認

HP ワークステーションで動作することが確認されている Linux バージョンを調べるには、[http://www.hp.com/support/linux\\_hardware\\_matrix](http://www.hp.com/support/linux_hardware_matrix) にアクセスします。

## Novell SLED のセットアップ

オペレーティング システムがプリロードされたシステムに SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) をセットアップするには、次の手順を実行します。

1. ワークステーションを起動します。
2. Installation Settings を開始し、ワークステーションのパスワード、ネットワーク、グラフィックス、時刻、キーボード設定情報、および Novell Customer Center Configuration (Novell Customer Center 設定) を入力します。

 **注記：** システム起動後の最初の Installation Settings 中に、[Novell Customer Center Configuration] (Novell Customer Center 設定) 画面から Novell のサブスクリプションを有効にすることができます。Novell Customer Center の完全なドキュメントは、<http://www.novell.com/documentation/ncc/> にあります。

## ワークステーションのアップデート

HP では、ワークステーションのトータルな操作性の向上に常に取り組んでいます。ご使用のワークステーションが最新の機能を利用できるように、最新の BIOS、ドライバ、ソフトウェア アップデートなどを定期的にインストールすることをお勧めします。

### 初回起動時のワークステーションのアップデート

ワークステーションを初めて起動したときに、次のガイドラインに従って、ワークステーションが最新の状態になっていることを確認してください。

- ロードされているシステム BIOS が最新のものであることを確認します。手順については、[36 ページの「BIOS のアップグレード」](#)を参照してください。
- インストールされているドライバが、そのシステム用の最新のものであることを確認します。手順については、[37 ページの「デバイス ドライバのアップグレード」](#)を参照してください。
- 入手可能な HP リソースを確認します。
- <http://www.hp.com/go/subscriberschoice> でドライバ アラートを申し込むことを検討してください。

## BIOS のアップグレード

最適なパフォーマンスを得るには、ワークステーションの BIOS リビジョンを調べ、必要であればアップグレードしてください。

### 現在の BIOS の確認

システムの起動中にワークステーションの現在の BIOS を確認するには、次の手順を実行します。

1. 画面の右下に F10=setup (セットアップ) が表示されるのを待ちます。
2. [F10] キーを押して、F10 セットアップ ユーティリティを開始します。  
F10 セットアップ ユーティリティが表示され、[File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択すると、ワークステーションの BIOS のバージョンが表示されます。
3. HP Web サイトに表示される BIOS バージョンと比較できるように、ワークステーションの BIOS バージョンを書き留めておきます。

## BIOS のアップグレード

最新の強化機能が含まれる最新の BIOS を探してダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. <http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスします。
2. 左側に表示された [Tasks] (タスク) のメニュー列から **[Download Drivers and Software]** (ドライバとソフトウェアのダウンロード) を選択します。
3. 説明に従って、使用しているワークステーション用の最新の BIOS を探します。
4. Web サイトの BIOS がシステムのバージョンと同じであれば、これ以上の操作は不要です。
5. Web サイトの BIOS の方がシステム上の BIOS よりも新しいバージョンであれば、ワークステーションに適切なバージョンをダウンロードします。リリース ノートの説明に従って、インストールを完了します。

## デバイス ドライバのアップグレード

周辺機器 (プリンタ、ディスプレイ アダプタ、ネットワーク アダプタなど) を取り付ける場合は、最新のデバイス ドライバがロードされていることを確認してください。デバイスを HP から購入した場合は、HP Web サイトにアクセスして、そのデバイスの最新ドライバをダウンロードしてください。そのドライバと HP ワークステーションとの互換性が最適であることはテスト済みです。

デバイスを HP 以外から購入した場合は、まず HP Web サイトにアクセスして、そのデバイスおよびドライバと HP ワークステーションとの互換性がテスト済みかどうか確認します。ドライバがない場合は、デバイスの製造元の Web サイトにアクセスして、最新のドライバをダウンロードします。

デバイス ドライバをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. <http://www.hp.com/go/workstationsupport> にアクセスします。
2. 左側に表示された [Tasks] (タスク) のメニュー列から **[Download Drivers and Software]** (ドライバとソフトウェアのダウンロード) を選択します。
3. 説明に従って、使用しているワークステーション用の最新のドライバを探します。

必要なドライバが見つからない場合は、周辺機器の製造元の Web サイトにアクセスしてください。



## 5 オペレーティング システムの復元

この章では、Windows または Linux オペレーティング システムの復元方法について説明します。次の項目があります。

---

### トピック

---

[39 ページの「復元方法」](#)

---

[40 ページの「バックアップ ソフトウェアの注文」](#)

---

[40 ページの「Windows 7 または Windows Vista の復元」](#)

---

[41 ページの「Windows XP Professional の復元」](#)

---

[43 ページの「Novell SLED の復元」](#)

---

## 復元方法

Windows 7 または Windows Vista Business オペレーティング システムは、HP RestorePlus! プロセスを使用して再インストールできます。Windows XP Professional オペレーティング システムは、HP RestorePlus! プロセスまたは [HP Backup and Recovery Manager] を使用して再インストールできます。

- RestorePlus!

RestorePlus! プロセスは、Windows オペレーティング システムおよび (システムに含まれるデバイス用の) デバイス ドライバを再インストールして、工場出荷時に近い状態にします。このプロセスでは、ハード ディスク ドライブのデータのバックアップやリカバリは行われません。一部のアプリケーション ソフトウェアは、このプロセスを使用しても復元されません。復元するには、適切なアプリケーション CD からインストールする必要があります。

- HP Backup and Recovery Manager (HPBR) のリカバリ ポイント

HP Backup and Recovery Manager アプリケーションを使用すると、システム パーティションの内容を取得し、復元することができます。このアプリケーションは、システム パーティションのスナップショットを取得し、リカバリ ポイントに保存します。リカバリ ポイントが作成された時点でのシステム パーティションの内容がすべて保存されます。

 **注記：** HP Backup and Restore は、HP xw6600 Workstation と xw8600 Workstation でのみサポートされます。

リカバリ ポイントはハード ディスク ドライブに保存されます。また、メディアに書き込んで保管することもできます。

 **注意：** これらの方法によって復元されるのはオペレーティング システムであり、データではありません。データは、定期的にバックアップして、失われないようにする必要があります。

## バックアップ ソフトウェアの注文

システム リカバリ CD または DVD を作成できない場合は、HP のサポート窓口からリカバリ ディスク セットを購入できます。 お住まいの地域のサポート窓口の電話番号を入手するには、<http://www.hp.com/support/contactHP/>（英語サイト）を参照してください。

## Windows 7 または Windows Vista の復元

ここでは、Windows 7 または Windows Vista の復元方法について説明します。

### RestorePlus! メディアの注文

ワークステーションと同時に復元メディアを注文した場合、そのメディアはワークステーション コンポーネントに添付されています。

復元メディアを購入しなかった場合は、HP サポートに連絡して RestorePlus!メディア キットについてお問い合わせください。 世界各地のサポート窓口の電話番号を調べるには、<http://www.hp.com/support/>にアクセスして国や地域を選択し、[お問い合わせ]をクリックしてください。

### オペレーティング システムの復元

☞ **注記：** Windows 7 および Windows Vista にも、バックアップおよび復元アプリケーションが用意されています。 このアプリケーションについて詳しくは、Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

△ **注意：** オペレーティング システムの復元を行う前に、データをバックアップしてください。

メディアから RestorePlus! を実行すると、プライマリ ハード ディスク ドライブ上のすべての情報（すべてのパーティションを含む）が削除されます。

Windows 7 または Windows Vista を復元するには、以下の操作を行います。

1. RestorePlus! DVD からシステムを起動し、RestorePlus! プロセスを開始します。デバイスのドライバと設定をインストールするには、RestorePlus! DVD から起動する必要があります。
2. 画面の指示に従って、オペレーティング システムを復元します。

一部のアプリケーション ソフトウェアは、RestorePlus! プロセスを使用しても復元されません。復元されなかったソフトウェアは、該当するアプリケーション DVD からインストールします。

# Windows XP Professional の復元

ここでは、Windows XP Professional オペレーティング システムの復元方法について説明します。

 **注記：** メディア セットを作成するには、ワークステーションに CD または DVD ライタがインストールされていることが必要です。

## RestorePlus! メディアの作成

RestorePlus! キットは、ハード ディスク ドライブにあるファイルを使って作成できます。復元メディアを作成するには、次の手順を実行します。

1. ワークステーションを起動します。
2. 起動中に [HP Backup and Recovery Manager] 画面が表示され、リカバリ CD または DVD を作成するプロンプトが表示されます。[Now] (今すぐ) を選択します。
3. システムのイニシャル リカバリ ポイント (IRP) が取得されます。これは、システム ハード ディスク ドライブのスナップショットです。このキャプチャに 10 分以上かかる場合もあります。
4. IRP が作成されたら、一連のバックアップ CD または DVD を作成できます。

Windows XP オペレーティング システム CD を含む RestorePlus! メディア セットを作成するには、[] RestorePlus! → [Microsoft Windows XP operating system] (Microsoft Windows XP オペレーティング システム) → [Supplemental media] (補足メディア) の順に選択します。

 **注記：** オプションによっては、さらに他の DVD を作成できる場合があります。

5. 画面の指示に従って、RestorePlus!、オペレーティング システム、HPBR の各メディアを作成します。

ワークステーション上で CD/DVD を作成できない場合は、HP サポートに連絡して RestorePlus! メディア キットについてお問い合わせください。世界各地のサポート窓口の電話番号を調べるには、<http://www.hp.com/support/> にアクセスして国や地域を選択し、[お問い合わせ] をクリックしてください。

## HP Backup and Recovery (HPBR) メディアの作成

 **注記：** HPBR は、Windows XP システムでのみサポートされています。詳しくは、ワークステーションに付属している追加ソフトウェアに関するマニュアル、『HP Backup and Recovery』(HP バックアップおよび復元) CD を参照してください。このマニュアルにはインストール中にアクセスできません。

イニシャル リカバリ ポイントはオプティカル メディアに書き込んで、システムのリカバリに使用できます。ここでは、メディアの作成について説明します。

 **注記：** メディア セットを作成するには、ワークステーションに CD または DVD ライタがあることが必要です。

HPBR リカバリ メディアを作成するには、次の手順を実行します。

1. イニシャル リカバリ ポイントは、以前に RestorePlus! メディア セットが作成された時点で取得されています。

IRP が作成されていない場合は、HP Backup and Recovery Manager を起動し、Expert (エキスパート) モードを使用してリカバリ ポイントを作成します。手順は、HPBR オンライン ドキュメントに従ってください。

2. HPBR から IRP をメディアに書き込みます。

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Backup & Recovery]→[HP Backup and Recovery Manager]の順に選択します。

3. 最初の画面で [Next] (次へ) を選択します。

[Create recovery CDs or DVDs to recover the system] (システム リカバリ用のリカバリ CD または DVD を作成) を選択してから、[Next] (次へ) を選択します。

4. [Next] (次へ) を選択して、使用可能な CD イメージおよびリカバリ ポイントのリストを表示します。

5. イニシャル リカバリ ポイントの隣のボックスを選択し、[Next] (次へ) を選択します。

6. 指示に従って、メディアを作成します。

## オペレーティング システムの復元

△ **注意：** オペレーティング システムの復元を行う前に、データをバックアップしてください。

メディアから RestorePlus! を実行すると、プライマリ ハード ディスク ドライブ上のすべての情報 (すべてのパーティションを含む) が削除されます。復旧パーティションから RestorePlus! を実行すると、ルート (C:) パーティションのみが影響を受けます。

### RestorePlus! の使用

RestorePlus! を使用して復元するには、次の手順を実行します。

1. RestorePlus! DVD からワークステーションを起動します。デバイスのドライバと設定をインストールするには、RestorePlus! DVD から起動する必要があります。
2. 画面の指示に従って、オペレーティング システムを復元します。

一部のアプリケーション ソフトウェアは、RestorePlus! プロセスを使用しても復元されません。復元されなかったソフトウェアは、該当するアプリケーション DVD からインストールします。

### HPBR の使用

HPBR イニシャル リカバリ ポイント メディアを使用して復元するには、次の手順を実行します。

1. イニシャル リカバリ ポイント メディアからワークステーションを起動します。
2. 画面の指示に従って、IRP が作成されたときの状態にシステムを復元します。

### 復旧パーティションの使用

Windows XP が付属するシステムには、復旧パーティションが含まれています。システムは、その復旧パーティションから起動できます。

HPBR イニシャル リカバリ ポイントが作成されている場合は、その IRP を使用して復旧パーティションからシステムを復元できます。作成されていない場合は、RestorePlus! インストールを使用できます。

復旧パーティションを使用して復元するには、次の手順を実行します。

1. ワークステーションを起動します。
2. ブート画面で Recovery Manager に入るかを尋ねられたら、**[F11]** キーを押します。

☀ **ヒント：** ブート プロセス中に **[F11]** キーを押すタイミングは限られています。そのタイミングは、**F10** プロンプトが表示される時と同じです。

📖 **注記：** 復旧プロセスによる再インストールが、正しいハード ディスク ドライブに対して確実に実行されるようにするため、復旧プロセス中はターゲット ライブを接続したままにしてください。

3. 画面の指示に従って、システムを工場出荷時に準じた状態に復元します。

## Novell SLED の復元

Linux オペレーティング システムを復元するには、SLED 復元メディアが必要です。

### 復元メディアの作成

SUSE Linux Enterprise Desktop のプリロードでは、デスクトップに **[SUSE ISO]** アイコンが作成されています。このアイコンをクリックすると、**/iso** ディレクトリに移動できます。**/iso** ディレクトリ

りには、ワークステーションのプリロードに使用されたすべての iso イメージが含まれます。元のイメージを回復または復元するには、/iso ディレクトリの Readme ファイルの手順に従って、ISO イメージ ファイルを CD にコピーします。

 **注記：** 万が一ワークステーションでハード ディスク ドライブ障害が発生した場合に備えて、ISO 回復イメージを CD にバックアップ ファイルとしてコピーすることを推奨します。

## 6 コンポーネント取り付けの準備

コンポーネントの取り付けを容易にするため、いくつかの手順を実行してワークステーションで準備を行うことができます。この章では、コンポーネントを取り付けるためにワークステーションで準備を行う方法について説明します。

### 取り外しおよび取り付けの準備

以下の表を参照して、コンポーネントを取り付ける前に必要なワークステーションでの取り外しの順序を確認します（お使いのワークステーションのコンポーネントは、一覧と異なる場合があります）。

表 6-1 ワークステーション コンポーネントの取り付け

取り付けるコンポーネント	1 番目に取り外し	2 番目に取り外し	3 番目に取り外し	4 番目に取り外し	5 番目に取り外し
メモリ	シャーシ ロック*	側面のアクセス パネル	通気ガイド (Z800、Z400 ではオプション製品)	メモリ ファンまたは通気ガイド (必要な場合)	
拡張カード (PCI/PCIe)	シャーシ ロック	側面のアクセス パネル	通気ガイド (Z800)	拡張カード サポート	拡張カード スロット カバー
ハードディスク ドライブ	シャーシ ロック	側面のアクセス パネル			
オプティカル ドライブ	シャーシ ロック	側面のアクセス パネル	フロント パネル (Z400 のみ)	通気ガイド (Z800、Z400 ではオプション製品)	拡張カード サポート (Z800)

\* シャーシ ロックの位置および操作の説明については、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

### コンポーネント取り付けのためのワークステーションの準備

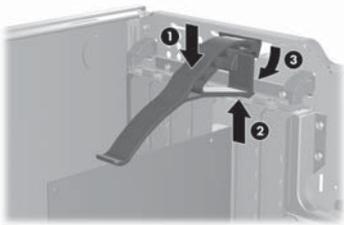
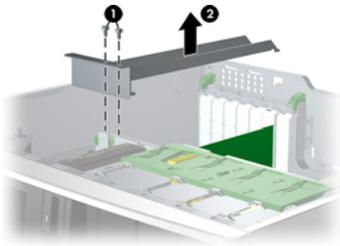
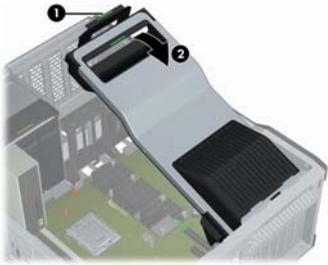
ワークステーションの準備を行うには、以下の操作を行います。

 **注記：** ワークステーションには、ボタンまたはレバーでの操作が必要な場所に緑色のプラスチックのタッチ ポイントが貼付されています。一部のコンポーネント上にある緑色のタッチポイントは、そのコンポーネントを工具なしで取り外せることを示しています。

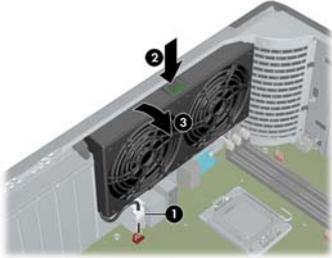
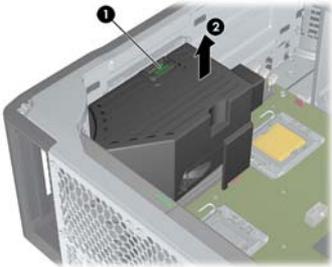
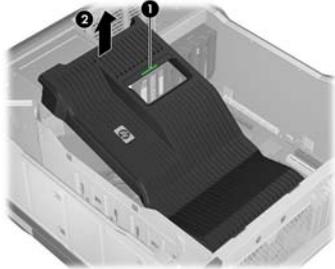
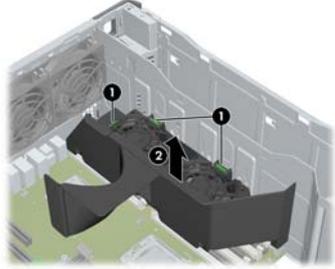
1. 電源コードをシステムから取り外します。
2. 側面のアクセス パネルのロックを解除するか、またはシャーシ ロックを取り外します。
3. 以下の図に示すように、側面のアクセス パネルを取り外します。

Z400	Z600	Z800
<p>ハンドルを引き上げ (1)、カバーをシステムの背面に向かって 1.3 cm 程度スライドさせ (2)、カバーをシャーシから回転させて取り外します (3)</p> 	<p>アクセス パネルのハンドルを持ち上げて (1)、側面のアクセス パネルを取り外します (2)</p> 	<p>アクセス パネルのハンドルを持ち上げて (1)、側面のアクセス パネルを取り外します (2)</p> 

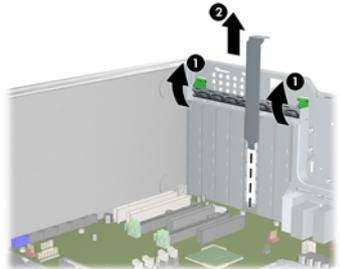
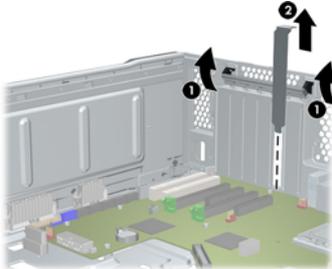
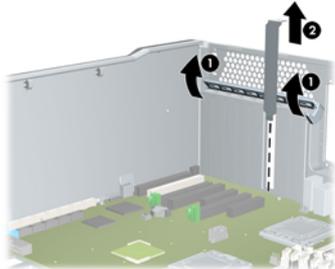
4. 該当する場合は、以下の図に示すように、拡張カード クランプまたは拡張カード サポートを取り外します。

Z400	
<p>ホールド ダウン クランプを使用している Z400 では、クランプの上部をつかみ (1)、クランプの底面がクランプ レールから離れるまでクランプの側面にあるリリース ハンドルを押してから (2)、クランプを回転させて背面パネルから取り外します (3)</p> 	<p>カード サポートを使用している Z400 では、カード サポートのネジを取り外し (1)、拡張カード サポートを持ち上げてシャーシから取り外します (2)</p> 
Z800	
<p>リリース タブを持ち上げてから (1)、拡張カード サポートのハンドルを持ち上げて拡張カード サポートを取り外します (2)</p> 	

5. 該当する場合は、以下の図に示すように、メモリ ファンおよびシステム ファンを取り外します。

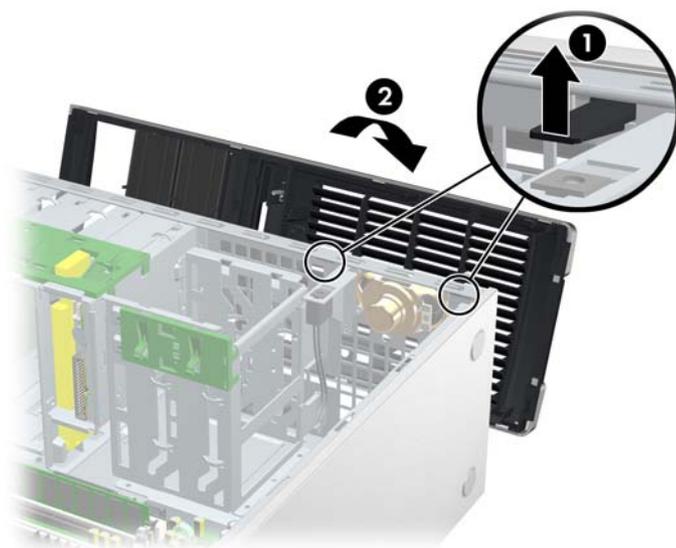
Z400 (別売)	Z600	Z800
<p data-bbox="336 233 697 310">以下の図に示すように、通気ガイドのリリース ラッチを押して、通気ガイドをシャーシから取り外します</p> 	<p data-bbox="716 233 1077 390">ファン ケーブルをシステム ボードから取り外し (1)、緑色のタッチ ポイントにあるリリース タブを押して (2)、背面のシステム ファン アセンブリをシャーシから回転させて取り外します (3)</p>  <p data-bbox="716 722 1077 827">緑色のタッチ ポイントにあるリリース タブを押し (1)、メモリ ファン アセンブリをシャーシから持ち上げて取り外します (2)</p> 	<p data-bbox="1096 233 1457 310">該当する場合は、以下の図に示すように、Z800 の通気ガイドを取り外します</p>  <p data-bbox="1096 642 1457 747">緑色のタッチ ポイントにあるリリース タブを押し (1)、メモリ ファン アセンブリをシャーシから持ち上げて取り外します (2)</p> 

6. 該当する場合は、以下の図に示すように、拡張カード固定クランプを持ち上げて、拡張カード スロット カバーを取り外します。

Z400	Z600	Z800
<p data-bbox="336 1314 697 1419">緑色のタッチ ポイントにあるカード 固定クランプを開き (1)、スロット カバーをシャーシから持ち上げて取り外します (2)</p> 	<p data-bbox="716 1314 1077 1392">カード固定クランプを開き (1)、スロット カバーをシャーシから持ち上げて取り外します (2)</p> 	<p data-bbox="1096 1314 1457 1392">カード固定クランプを開き (1)、スロット カバーをシャーシから持ち上げて取り外します (2)</p> 

7. 該当する場合は、以下の図に示すように、HP Z400 ワークステーションのフロント パネルを取り外します。

リリース タブを持ち上げ (1)、フロント パネルを回転させてシャーシから取り外します (2)。



## 7 メモリの取り付け

この章では、メモリをワークステーションに追加する方法について説明します。

### サポートされるメモリ構成

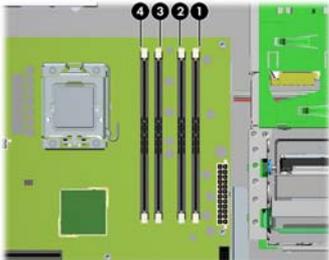
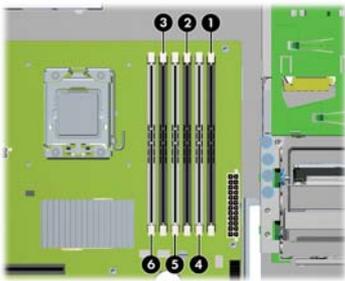
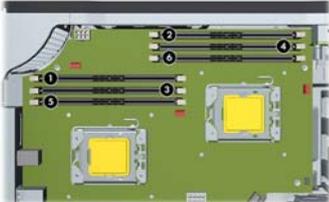
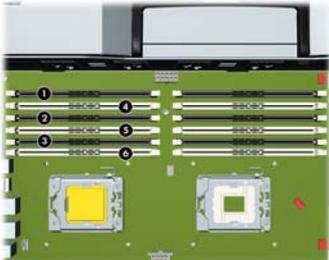
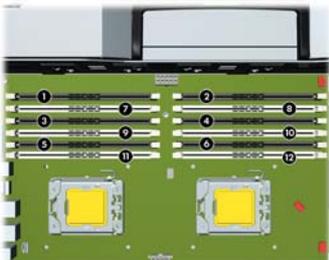
HP ワークステーションの特定の DIMM 互換性情報について詳しくは、<http://www.hp.com/go/productbulletin/>（英語サイト）の情報を参照してください。

#### 注記：

- HP Zシリーズのワークステーションは、ECC DIMM メモリにのみ対応しています。
- アンバッファード DIMM メモリとレジスタード DIMM メモリを同時に使用しないでください。システムが起動しなくなり、メモリ エラーが発生します。
- 最適なパフォーマンスが得られるようにするには、CPU ごとに同じ数の DIMM を取り付けてください。お使いのワークステーションに CPU が 2 つある場合は、同じサイズの DIMM を 2 つ 1 組で取り付けてください。

以下の表で、HP Zシリーズのワークステーションでサポートされるメモリ構成について説明します。

Z400	Z600	Z800
<b>取り付けガイドライン</b> HP 認定のアンバッファード DDR3 DIMM のみを取り付けてください	<b>取り付けガイドライン</b> HP 認定の DDR3 DIMM のみを取り付けてください。使用するすべての DIMM を、アンバッファード DIMM またはレジスタード DIMM にしてください	<b>取り付けガイドライン</b> HP 認定の DDR3 DIMM のみを取り付けてください。使用するすべての DIMM を、アンバッファード DIMM またはレジスタード DIMM にしてください

Z400	Z600	Z800
<p><b>4つのDIMMがサポートされる構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4基のDIMMスロット</li> <li>1~16 GBのメモリ構成</li> </ul> <p><b>6つのDIMMがサポートされる構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6基のDIMMスロット</li> <li>1~24 GBのメモリ構成</li> </ul>	<p><b>サポートされる構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6基のDIMMスロット</li> <li>1~24 GBのアンバッファードDIMMメモリ構成</li> <li>4~48 GBのレジスタードDIMMメモリ構成</li> </ul>	<p><b>サポートされる構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12基のDIMMスロット</li> <li>1~192 GBのメモリ構成</li> </ul> <p><b>注記：</b> 96 GBより大きいメモリ構成の場合、1110 Wの電源が必要です</p>
<p><b>DIMMの取り付け順序</b></p> <p>4基のDIMMスロット</p>  <p>6基のDIMMスロット</p> 	<p><b>DIMMの取り付け順序</b></p> <p>シングル プロセッサ：</p>  <p>デュアル プロセッサ：</p> 	<p><b>DIMMの取り付け順序</b></p> <p>シングル プロセッサ：</p>  <p>デュアル プロセッサ：</p> 

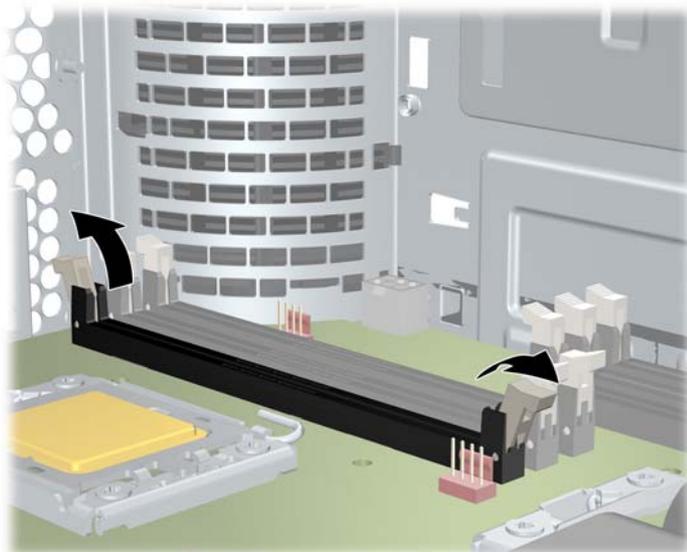
## DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、以下の操作を行います。

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。

- 以下の図に示すように、DIMM ソケットのレバーをゆっくりと外側に押します（図の例は HP Z600 ワークステーション）。

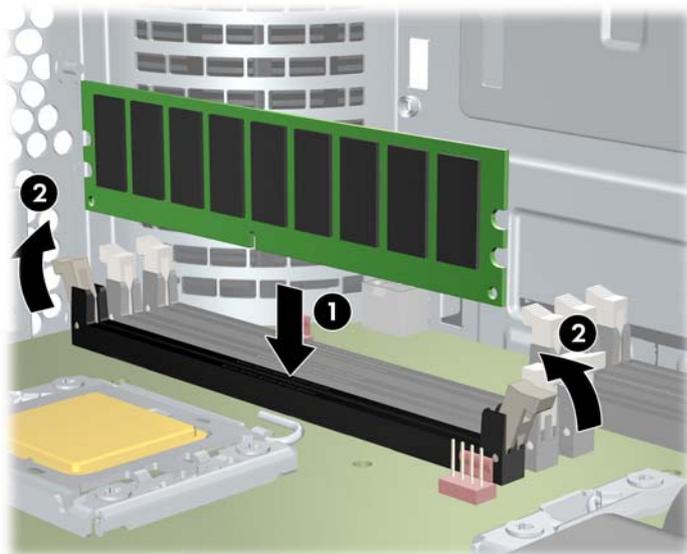
図 7-1 DIMM ソケットのレバーを開く



- 以下の図に示すように、DIMM コネクタの切り込みを DIMM ソケットの突起に合わせ、DIMM をソケットにしっかりと挿入します（1）。

△ **注意：** DIMM および DIMM ソケットには、正しく取り付けられるようにそれぞれ切り込みと突起があります。ソケットまたは DIMM の損傷を防ぐため、DIMM を取り付けるときに切り込みと突起を正しく合わせてください。

図 7-2 DIMM の挿入

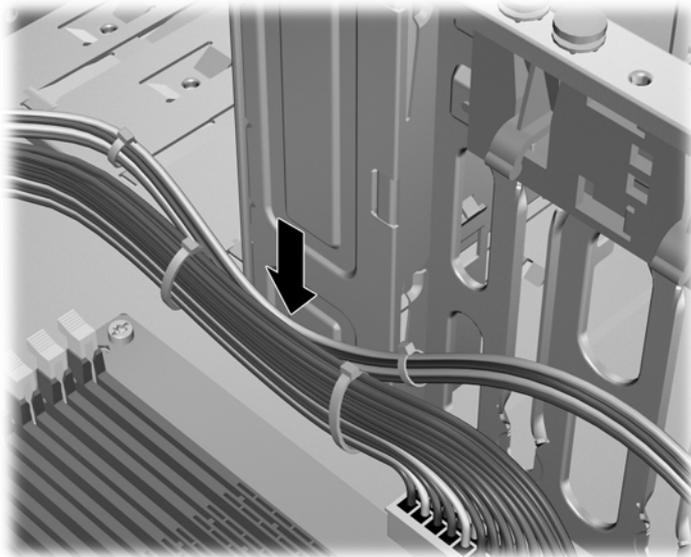


- ソケットのレバーを固定します（2）。
- コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

## 通気ガイドの取り付け（Z400のみ）

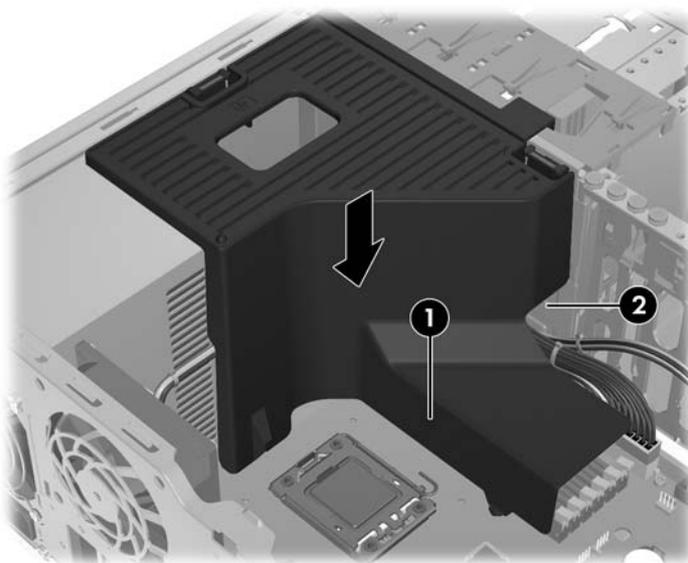
1. 45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. 以下の図に示すように、P1 などの電源ケーブルを、システム ボード上の DIMM スロットと内蔵ベイの間に押し込みます。

図 7-3 シャーシのケーブル配線



3. 通気ガイドをシャーシに取り付けます。
  - a. 通気ガイドの端（1）を 6 番の DIMM ソケットと CPU ヒートシンクの間にご置きます。

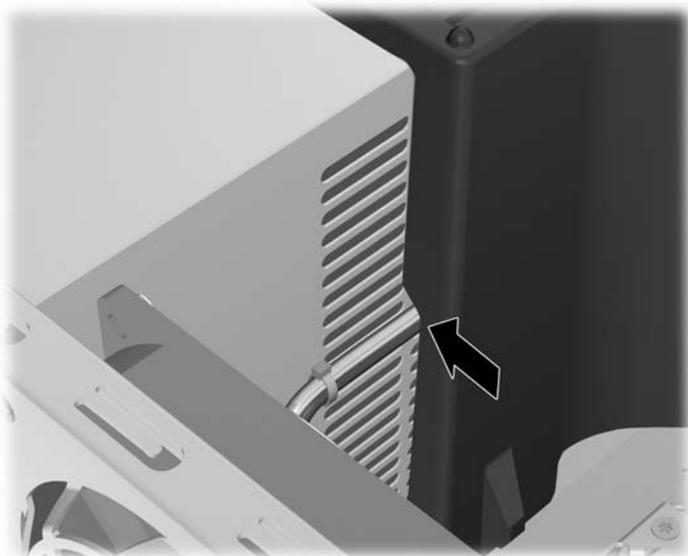
図 7-4 通気ガイドの取り付け



- b. 電源ケーブルおよびデータ ケーブルを内蔵ベイの横にある開口部（2）に通します。

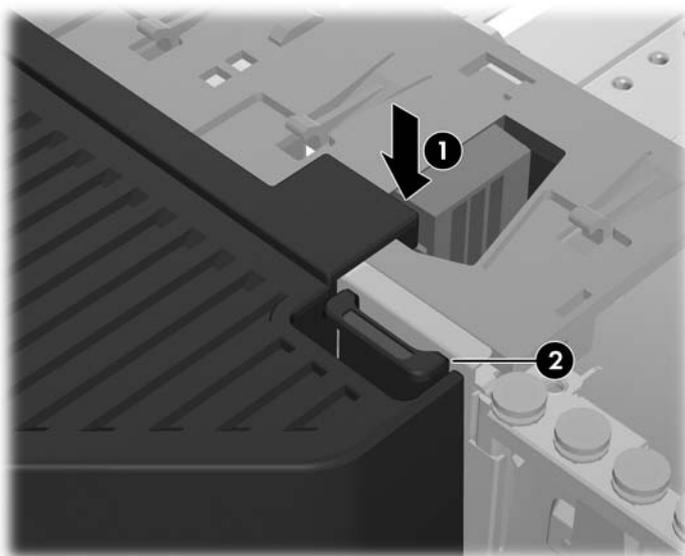
4. 以下の図に示すように、CPU 電源ケーブル（P3）を電源装置の横にある開口部（矢印）に通します。

図 7-5 CPU 電源ケーブルの配線



5. 通気ガイドをシャーシに固定します。
- a. 通気ガイドのタブを光学ドライブの黄色のリリース レバーの横にあるスロットに挿入して、押し込みます (1)。

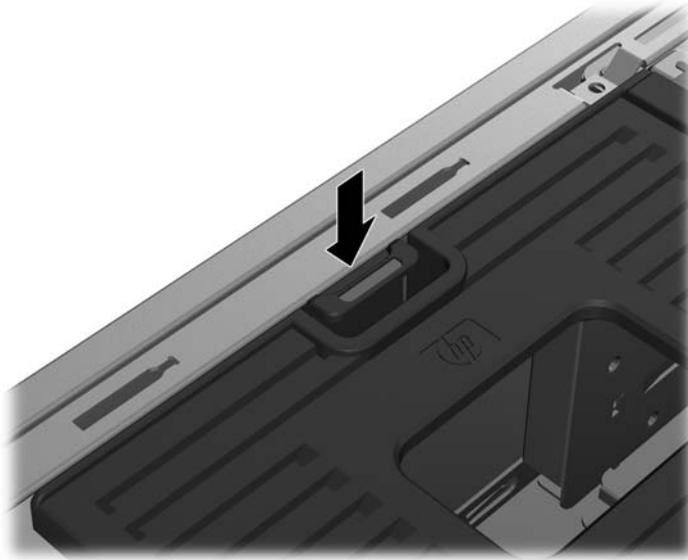
図 7-6 通気ガイドの固定



- b. 通気ガイドが ODD ベイの端でしっかりと固定され、ラッチ (2) が内蔵ベイ カバーのスロットとかみ合っていることを確認します。

- c. 以下の図に示すように、通気ガイドの上部のラッチがシャーシのフレーム下端に収まっていることを確認します。

図 7-7 通気ガイドのラッチの固定



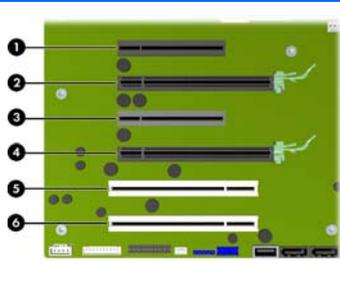
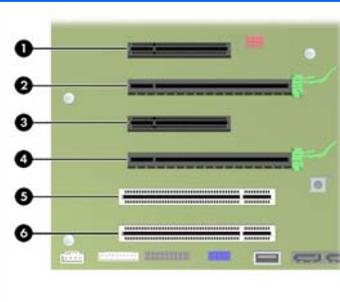
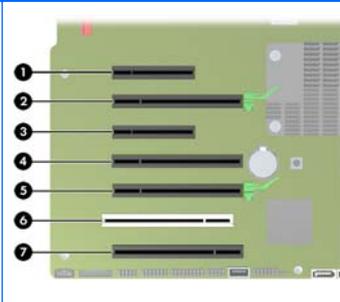
6. コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

## 8 PCI/PCIe デバイスの取り付け

この章では、PCI カードまたは PCIe カードをワークステーションに取り付ける方法について説明します。システムのパフォーマンスおよび機能を向上させるため、グラフィックス カードやオーディオ カードなどの PCI/PCIe デバイスをワークステーションの拡張カード スロットに取り付けることができます。

### 拡張カード スロットの識別

以下の表で、HP Z シリーズのワークステーションの拡張カード スロットについて説明します。

Z400	Z600	Z800
		
<b>スロットの説明</b> <ul style="list-style-type: none"><li>1 : PCIe2 - x8 (4) 25 W</li><li>2 : PCIe2 - x16 75 W</li><li>3 : PCIe - x8 (4) 25 W</li><li>4 : PCIe2 - x16 75 W</li><li>5 : PCI 32/33 25 W</li><li>6 : PCI 32/33 25 W</li></ul>	<b>スロットの説明</b> <ul style="list-style-type: none"><li>1 : PCIe2 - x8 (4) 25 W</li><li>2 : PCIe2 - x16 75 W</li><li>3 : PCIe - x8 (4) 25 W</li><li>4 : PCIe2 - x16 75 W</li><li>5 : PCI 32/33 25 W</li><li>6 : PCI 32/33 25 W</li></ul>	<b>スロットの説明</b> <ul style="list-style-type: none"><li>1 : PCIe2 x8 (4) 25W</li><li>2 : PCIe2 - x16 75 W</li><li>3 : PCIe - x8 (4) 25 W</li><li>4 : PCIe2 - x16 (8) 25 W</li><li>5 : PCIe2 x16 75 W</li><li>6 : PCI 32/33 25 W</li><li>7 : PCIe - x16 (8) 25 W</li></ul>

△ **注意：** 損傷を防ぐため、(I/O カード、CPU、およびメモリを含む) システム全体の消費電力がシステム電源装置の最大定格を超えないようにしてください。

📖 **注記：** x1、x4、x8、および x16 の識別子は、スロットの機械的な長さを表します。また、カッコ内の番号は、拡張スロットに配線されている電気的な PCIe レーンの数を表します。たとえば、x16 (8) は、機械的に x16 の長さで、8 つの PCIe レーンが接続されている拡張スロットであることを示します。

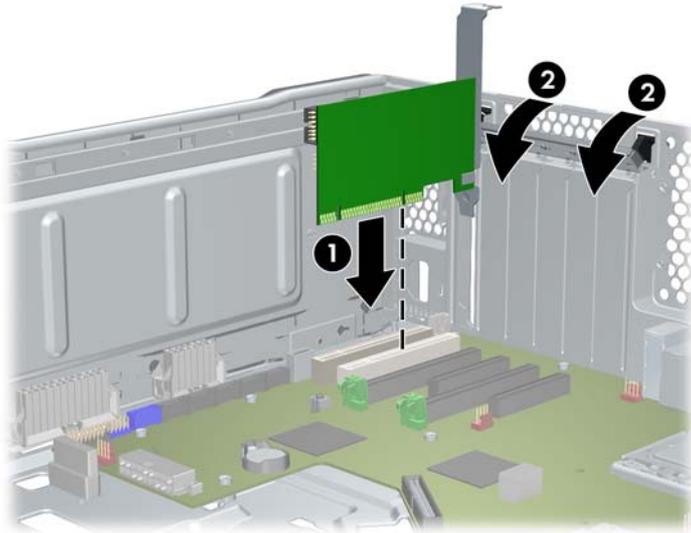
### 拡張カードの取り付け

📖 **注記：** 以下の手順では、HP Z シリーズの標準的なワークステーションに拡張カードを取り付ける方法について説明します。お使いのワークステーションの外観は、図と異なる場合があります。

PCI 拡張カードまたは PCIe 拡張カードを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. 以下の図に示すように、カードの切り込みをスロットの突起に合わせ、カードをスロットにしっかりと挿入します (1)。

図 8-1 拡張カードの取り付け



3. 以下の図に示すように、固定クランプを下方方向に回転させて閉じます (2)。

 **注記：** Z800 では、PCI 固定クランプを閉じてすべてのカードを確実に固定します。固定クランプは PCI カード サポートで固定されます。

4. 必要なすべての電源ケーブルおよびインターフェイス ケーブルをカードに接続します (拡張カードに付属の説明書を参照してください)。
5. コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

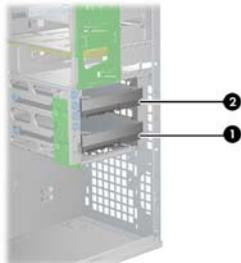
## 9 ハードディスク ドライブの取り付け

この章では、ハードディスク ドライブ (HDD) をワークステーションに取り付ける方法について説明します。

### HDD 構成

以下の表で、ハードディスク ドライブの取り付け構成情報について説明します。

Z400	Z600	Z800
<p>HDD ベイは、取り付けを簡単に実行できるように設計されています。データ ケーブルは、工場出荷時の構成に基づいてワークステーション内であらかじめ接続されています</p> <p>ワークステーションは通常、HDD を取り付けられた状態で出荷されますが、他のドライブを追加してデータ ストレージを拡張できます</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• SAS ポートおよび SATA ポートの位置を確認するには、ワークステーションの側面のアクセス パネルに貼付されているサービス ラベルを参照してください</li><li>• 他の HDD は、ワークステーションの種類に応じて特定の順序で追加する必要があります</li><li>• 取り付けられた HDD には、通常のブート ディスクである C:¥のドライブ文字を割り当てます。ドライブ文字は、[コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して割り当てます</li><li>• 他の HDD を追加すると、追加したドライブの 1 つからワークステーションが起動するようにワークステーションの起動順序を変更できます。起動順序は、[コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して指定します</li></ul> <p>他の HDD を追加すると、ハードディスク領域が増えるため、プログラム、データ ファイル、およびバックアップを追加できます</p> <p>ワークステーションに取り付けられる HDD の数、ドライブの取り付け順序、および起動順序の設定手順について詳しくは、<a href="http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html">http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/workstation/hp_workstation.html</a> の『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください</p>		

Z400	Z600	Z800
<p><b>ドライブおよびケーブル構成</b></p> <p>HDD ベイのシャーシには番号が付けられていません</p> <p>以下の方法で、システム ボードのコネクタにケーブル プラグを差し込みます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SATA HDD ケーブルは、SATA ポート 0 から順番に SATA ポートに差し込みます</li> <li>SAS HDD ケーブルは、システム ボードのコネクタではなく、専用の SAS コントローラー カードに差し込みます</li> </ul>	<p><b>ドライブおよびケーブル構成</b></p> <p>HDD ベイには、0（上部ベイ）および 1 の番号が付けられています</p> <p>ベイには 2 本のデータ ケーブルがあります。それらのケーブルには、HDD BAY 0 および HDD BAY 1 の番号が付けられています</p> <p>以下の方法で、システム ボードのコネクタにケーブル プラグを差し込みます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SATA HDD ケーブルは、SATA ポート 0 から順番に SATA ポートに差し込みます</li> <li>最後に差し込んだ HDD が SATA である場合は、空いている HDD ベイのケーブルを SATA ポートに差し込みます</li> </ul> <p><b>注記：</b> これがプライマリ HDD になります（2 番目の空のベイ）。また、お使いの HDD が既存のドライブと異なる場合は、データ ケーブルを取り外して適切なコントローラーに再接続することが必要になる場合があります</p>	<p><b>ドライブおよびケーブル構成</b></p> <p>HDD ベイには、0（上部ベイ）、1、2、および 3 の番号が付けられています</p> <p>ベイには 4 本のデータ ケーブルがあります。それらのケーブルには、HDD BAY 0、HDD BAY 1、HDD BAY 2、および HDD BAY 3 の番号が付けられています</p> <p>以下の方法で、システム ボードのコネクタにケーブル プラグを差し込みます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SATA HDD ケーブルは、SATA ポート 0 から順番に SATA ポートに差し込みます</li> <li>最後に差し込んだ HDD が SATA である場合は、空いている HDD ベイのケーブルを SATA ポートに差し込みます</li> <li>SAS HDD ケーブルは、SAS ポート 0 から順番に SAS ポートに差し込みます</li> <li>最後に差し込んだ HDD が SAS である場合は、空いている HDD ベイのケーブルを SAS ポートに差し込みます</li> </ul> <p><b>注記：</b> これがプライマリ HDD になります（2 番目の空のベイ）。また、お使いの HDD が既存のドライブと異なる場合は、データ ケーブルを取り外して適切なコントローラーに再接続することが必要になる場合があります</p>
<p><b>HDD の取り付け順序</b></p> 	<p><b>HDD の取り付け順序</b></p> 	<p><b>HDD の取り付け順序</b></p> 

## ハードディスク ドライブの取り付け

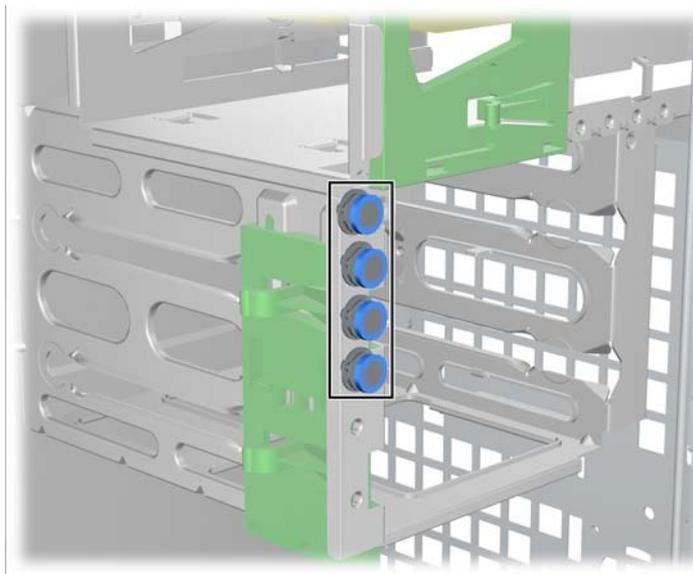
この章では、ハードディスク ドライブをワークステーションに取り付ける方法について説明します。

## HP Z400 ワークステーションへの HDD の取り付け

HDD を取り付けるには、以下の操作を行います。

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. ハードディスク ドライブを取り付けるドライブ ベイを選択します。
3. シャーンにある、分離絶縁用ゴムが付いた 4 つのネジを探します。

図 9-1 分離絶縁用ゴムが付いたネジの場所



4. 以下の図に示すように、分離絶縁用ゴムが付いた 4 つのネジを取り付けます。

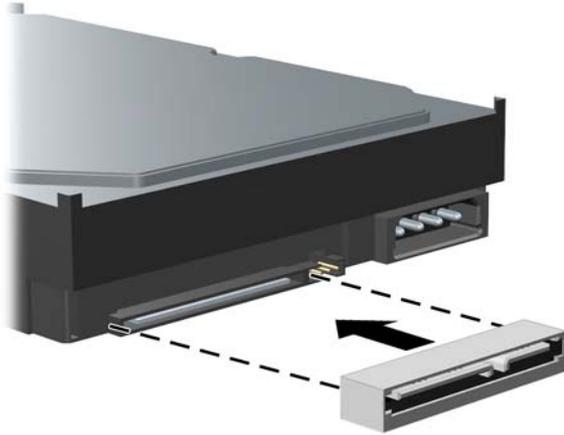
図 9-2 絶縁用ゴムが付いたネジの取り付け



- SAS ハードディスク ドライブを取り付けるには、以下の図に示すように、SAS - SATA ケーブル アダプターを SAS ドライブ上のコネクタに取り付けます。

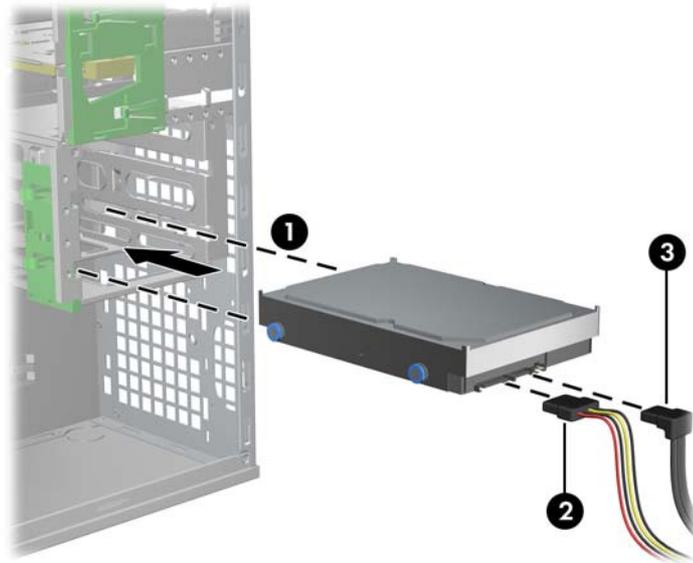
 **注記：** SAS ドライブには、専用の SAS コントローラー プラグイン カードが必要です。

**図 9-3** ケーブル アダプターの取り付け



- 以下の図に示すように、ハードディスク ドライブが正しい位置に固定されるまで、選択したベイにドライブを挿入します (1)。

**図 9-4** ハードディスク ドライブの取り付け



- 電源ケーブル (2) をハードディスク ドライブに取り付け、SATA ポートまたは SAS コントローラーのデータ ケーブル (3) をそのドライブに取り付けます。

 **注意：** アクセス パネルを取り付けなおすときにデータ ケーブルを圧迫したり挟み込んだりすることを避けるため、ベイ 1 またはベイ 2 への HDD の取り付けには、直角コネクタが付いたデータ ケーブルを使用してください。

 **注記：** SATA HDD および SAS HDD の場合、データ ケーブルはシステム ボード (SATA HDD の場合) または SAS コントローラー カード (SAS HDD の場合) 上で最も小さい番号のドライブ コネクタに接続します。ハードディスク ドライブのコネクタを識別するには、側面のアクセス パネルに貼付されたワークステーションのサービス ラベルを参照してください。

8. コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

## HP Z600 または Z800 ワークステーションへの HDD の取り付け

HDD を取り付けるには、以下の操作を行います。

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. ハードディスク ドライブを取り付けるドライブ ベイを選択します。
3. ハードディスク ドライブを傾けてキャリアに置きます。以下の図に示すように、下部の 2 本のハードディスク ドライブ キャリア レールをゆっくりと開き (1)、ドライブを 2 本のレールの間に押し込みます。

レールを放して、ドライブを所定の位置に固定します。

**図 9-5** キャリアへのドライブの取り付け



4. 上の図に示すように、上部の 2 本のハードディスク ドライブ キャリア レールをゆっくりと開き (2)、ドライブを回転させて垂直にします (3)。

レールを放して、ドライブを所定の位置に固定します。

- ハードディスク ドライブのハンドルを完全に開いた位置になるまで下方向に回転させます。以下の図に示すように、ドライブが止まるまでゆっくりとスロットに押し込みます (1) (図の例は HP Z600 ワークステーション)。

ハードディスク ドライブを取り付けるときは、ドライブのハンドルを正しい位置に固定されるまで回転させて、ドライブを完全に固定します (2)。

**注記：** ハードディスク ドライブ キャリアのハンドルは、コネクタを適切に挿入してドライブをしっかり固定するためのレバーとして使用します。ハンドルを十分に回転させないで途中で止めてしまうと、適切に接続されず、ドライブが正しく固定されません。

図 9-6 シャーシへの HDD の取り付け



- SAS ハードディスク ドライブを Z600 ワークステーションに取り付ける場合は、SAS コントローラー カードを取り付ける必要があります。ドライブのデータ ケーブルをシステム ボードの SATA コネクタから SAS コントローラー カードのコネクタに移します。

SAS ハードディスク ドライブを Z800 に取り付ける場合は、ドライブのデータ ケーブルをシステム ボードの SATA コネクタからシステム ボードの SAS コネクタに移します。

コネクタの位置および取り付けについては、ワークステーションの『メンテナンスおよびサービス ガイド』を参照してください。

- コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

# 10 オプティカル ディスク ドライブの取り付け

ここでは、オプティカル ディスク ドライブ (ODD) をワークステーションに取り付ける方法について説明します。

## HP Z400 ワークステーションへの ODD の取り付け

ここでは、オプティカル ディスク ドライブ (ODD) を縦置きおよび横置きの HP Z400 ワークステーションに取り付ける方法について説明します。

### オプティカル ドライブの取り付け（縦置き）

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. 必要に応じて、ブランク フィラーおよび EMI フィラーをオプティカル ベイから取り外します。
3. 4 つの黒色のガイド用 M3 メートル式ネジをドライブに取り付けます。

図 10-1 ガイド用ネジの取り付け



4. ネジをドライブベイの溝に合わせて、緑色のドライブロック リリース レバーを持ち上げながら、ドライブをゆっくりとベイに挿入します。ドライブの一部が挿入されたらドライブロック リリース レバーを放し、ドライブが正しい位置に固定されるまでドライブを完全にベイに挿入します。

△ **注意：** オプティカル ディスク ドライブが簡単に外れないかどうかを確認するため、ドライブを引っ張ってみて、ドライブがワークステーションのシャーシに固定されていることを確認します。ドライブが正しく固定されていないと、ワークステーションを移動させたときにドライブが損傷する場合があります。

5. 以下の図に示すように、電源ケーブルとデータ ケーブルをオプティカル ディスク ドライブおよびシステム ボードに接続します。SATA コネクタの位置については、側面のアクセス パネルのサービス ラベルを参照してください。データ ケーブルを、使用可能な次のコネクタに接続します。

図 10-2 ODD の電源ケーブルおよびデータ ケーブルの接続



6. コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

## オプティカル ドライブの取り付け（横置き）

1. [45 ページの「コンポーネント取り付けの準備」](#)の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. 必要に応じて、ブランク フィラーおよび EMI フィラーをオプティカル ベイから取り外します。
3. 4 つの黒色のガイド用 M3 メートル式ネジ (1) をドライブに取り付けます。

図 10-3 オプティカル ドライブの取り付け



4. ネジをドライブベイの溝に合わせて、ドライブが正しい位置に固定されるまで、ドライブをゆっくりとベイに挿入します (2)。

- △ **注意：** オプティカル ドライブが簡単に外れないかどうかを確認するため、ドライブを引っ張ってみて、ドライブがワークステーションのシャーシに固定されていることを確認します。ドライブが正しく固定されていないと、ワークステーションを移動させたときにドライブが損傷する場合があります。

5. 電源ケーブルとドライブ ケーブルをドライブおよびシステム ボードに接続します。

## HP Z600 または Z800 ワークステーションへの ODD の取り付け

ODD を取り付けるには、以下の操作を行います。

1. 45 ページの「[コンポーネント取り付けの準備](#)」の説明に沿って操作し、コンポーネントを取り付けるためのワークステーションでの準備を行います。
2. 必要に応じて、オプティカル ベイ フィラーのトレイ ハンドルを持ち上げ、ワークステーションから取り外します。
3. 緑色のオプティカル ドライブ ベイ リリース ラッチを持ち上げたまま (1)、ドライブをベイに挿入します (2)。オプティカル ドライブの前面がオプティカル ドライブの止まる位置に近づいたらラッチを放しますが、以下の図に示すように、ラッチが閉じてドライブが固定されるまでドライブをベイの中に挿入します (図の例は HP Z600 ワークステーション)。

💡 **ヒント：** 取り付けるときに、隣接するドライブまたはフィラーが少し動くことがあります。リリースラッチを閉じて両方のデバイスを固定するには、両方のデバイスをスライドさせて位置を揃えることが必要になる場合があります。

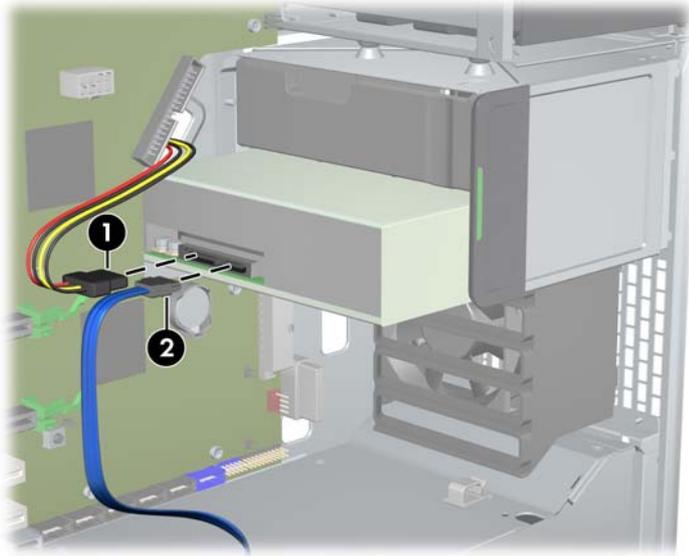
- △ **注意：** オプティカル ドライブが簡単に外れないかどうかを確認するため、ドライブを引っ張ってみて、ドライブがワークステーションのシャーシに固定されていることを確認します。ドライブが正しく固定されていないと、ワークステーションを移動させたときにドライブが損傷する場合があります。

図 10-4 オプティカル ドライブの取り付け



4. 以下の図に示すように、電源ケーブルとデータ ケーブルをオプティカル ディスク ドライブに接続します（図の例は HP Z600 ワークステーション）。

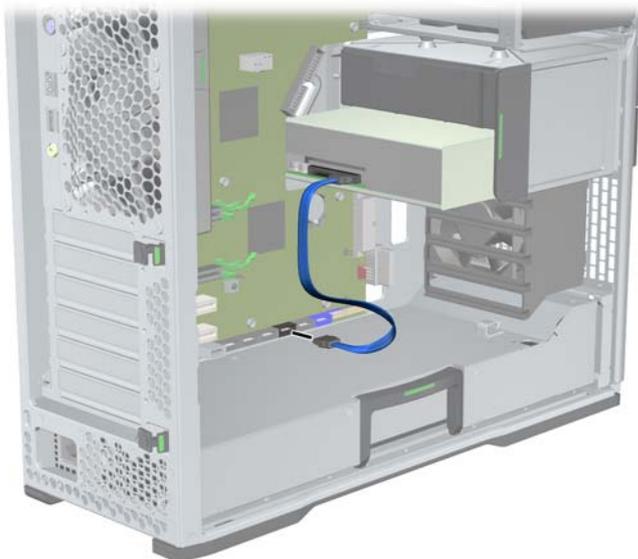
図 10-5 ODD の電源ケーブルおよびデータ ケーブルの接続



- 以下の図に示すように、オプティカル ディスク ドライブのデータ ケーブルをシステム ボード上にある適切で使用可能な SATA ポートに接続します (図の例は HP Z600 ワークステーション)。

**注記：** すべての HP Z800 ワークステーションのオプティカル ディスク ドライブは、SATA システム ボードまたは SAS システム ボードのどちらかのコネクタに接続する必要があります。すべてのドライブを取り付けるのに十分な数の SATA コネクタがない場合は、すべてのドライブを SAS システム ボード コネクタに接続します。SATA コネクタおよび SAS コネクタの位置については、側面のアクセス パネルに貼付されているワークステーションのサービス ラベルを参照してください。

**図 10-6** システム ボードへの ODD データ ケーブルの接続



- コンポーネントの取り付けに備えて取り外していたすべてのコンポーネントを取り付けなおします。

## ブルーレイ オプティカル ドライブに対するご注意

ブルーレイ オプティカル ドライブをインストールした場合、次の点にご注意ください。

### ブルーレイ ムービーの再生

ブルーレイは新技術が含まれた新しいフォーマットであるため、ディスク、デジタル接続、互換性、性能に関する問題が発生する可能性があります。こうした問題は、製品の障害に含まれていません。再生がすべてのシステムで完璧に行われることは、保証されていません。一部のブルーレイ タイトルの再生には、DVI または HDMI デジタル接続が必要です。また、HDCP 対応のディスプレイが必要となる場合があります。HD-DVD ムービーは、このワークステーションでは再生できません。

### ブルーレイ ムービー再生の互換性とアップデート

商用配信のブルーレイ HD ムービーなどのブルーレイ HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) コンテンツを再生するには、コンピュータ上に HDCP に完全に準拠したパスが必要です。HDCP 技術は、ブルーレイ ディスク上のコンテンツからディスプレイ モニタに至るパス内の、各コンポーネントのコンプライアンスをチェックします。コンポーネントの例としてグラフィックス カード、モニタ アダプタが挙げられますが、これらに限定されません。

HP Z400、Z600、および Z800 ワークステーションは、この技術に準拠して設計されています。現在使用可能な HP プロフェッショナル ディスプレイのほぼすべての構成がこの技術に準拠しています。以前の HP xw4600 および xw9400 ワークステーションの構成では、取り付けられているグラフィックス カードやディスプレイ モニターのパスが完全には準拠していません。商用コンテンツの再生が使用条件である場合は、他の方法でもシステムの完全な互換性について確認することをおすすめします。お使いのグラフィックス カードとモニターの HDCP 互換性については、<http://www.hp.com/go/productbulletin/>（英語サイト）の情報を確認してください。

最高の HDCP 性能を得るため、HP では最新のアップデートをインストールすることを推奨します。

1. ブルーレイ プレーヤ ファームウェア
2. 再生アプリケーションのパッチ
3. グラフィックス ファームウェアおよびドライバ

アップデートは、特定製品のサポート Web サイト <http://www.hp.com/support/workstations> から入手できます。

# 索引

## B

### BIOS

- アップデート 37
- バージョンの確認 36

## H

### HP Backup and Recovery 42

### HP リソース

- Web リンク 4
- 製品サポート 3
- 製品情報 2
- 製品ドキュメント 4
- 製品のアップデート 7
- 製品の診断 6
- 場所 1

## M

### Microsoft Windows

- セットアップ 34
- ファイルの転送 34

## N

### Novell SLED

- セットアップ 35
- 復元 43

## R

### Red Hat Linux

- セットアップ 34

### RestorePlus! 40

## W

### Windows Vista

- セットアップ 34
- 復元 40

### Windows XP

- セットアップ 34
- 復元 41

## お

### オプティカル ドライブ

- 取り付け 63

### オペレーティング システムのセッ トアップ

- Microsoft Windows 34
- Red Hat Linux 34

### オペレーティング システムのセッ トアップ;Novell SLED 35

### オペレーティング システムの復元

- Windows Vista 40
- Windows XP 41
- 復元方法 39

## か

### 拡張カード

- スロットの識別 55
- 取り付け 55

### 拡張カード サポート

- 取り外し 45

### 拡張スロット カバー

- 取り外し 45

## く

### グラフィックス カード

- 種類 28

## さ

### サポート

- HP リソースの参照場所 1

## し

### システム ファン

- 取り外し 45

## そ

### 側面のアクセス パネル

- 取り外し 45

### ソフトウェア

- 注文 40

## つ

### 通気ガイド

- 取り外し 45

## と

### ドライバ

- アップデート 34, 37
- インストール 34

### 取り付け

- PCI/PCIe カード 55
- オプティカル ドライブ 63
- 拡張カード 55
- ハードウェア 45
- ハードディスク ドライブ 57
- メモリ 50

## は

### ハードウェア

- 取り外し 45

### ハードディスク ドライブ

- 構成 57
- 取り付け 57

## ふ

### フロント パネル

- 取り外し 45

## め

### メモリ

- 取り付け 50
- メモリの取り付け 49

### メモリ ファン

- 取り外し 45

## も

### モニター

- グラフィックス カード 28
- 接続 30
- 設定 30
- ディスプレイの調整 31

## わ

### ワークステーション

- コンポーネント取り付けの準  
備 45

### ワークステーション コンポーネン ト 9

ワークステーションのアップデート	
BIOS のアップデート	37
初回起動時のアップデート	35
ドライバのアップデート	37
ワークステーションの各部	
HP Z400 ワークステーション	9
HP Z400 ワークステーションのシャーシ	10
HP Z400 ワークステーションのフロント パネル	11
HP Z400 ワークステーションのリア パネル	12
HP Z600 ワークステーション	13
HP Z600 ワークステーションのシャーシ	14
HP Z600 ワークステーションのフロント パネル	15
HP Z600 ワークステーションのリア パネル	16
HP Z800 ワークステーション	17
HP Z800 ワークステーションのシャーシ	18
HP Z800 ワークステーションのフロント パネル	19
HP Z800 ワークステーションのリア パネル	20
ワークステーションのセットアップ	
セキュリティ	31
セットアップ手順	22
ディスプレイのカスタマイズ	31
適切な通風の確保	21
モニターの接続	26
ユーザー補助機能	31